DiMAGE G400

J 使用説明書

はじめに

■ご使用前に必ずお読みください。

●事前に試し撮りをしてください。
大切な撮影（業務用および結婚式や旅行など）の前には必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

●撮影内容の補償はできません。
本製品および使用カードの不具合で、万一撮影や再生がされなかった場合などの撮影内容の補償については、ご容赦ください。

●著作権にご留意ください。
あなたが撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

●長時間使用時のご注意
長時間使用するとカメラ本体が熱くなることがあります。故障ではありませんが、長時間皮膚に触れたままになっていると低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

●商標について
＊Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
＊ Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
＊その他記載の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

●電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをお願い致します。

＊本文中のイラストは、説明用のため実際のデザインと異なる場合があります。
＊従来の写真と同様にデジタルカメラの画像も一部店舗を除きプリント取扱店でプリントできます。詳しくはプリント取扱店にご相談ください。

目次

応用操作と撮影 （撮影メニューを使った撮影と設定）

目次（つづき）

応用再生

カメラの設定

パソコンと接続する

その他

安全上のご注意　※必ずお守りください。

本製品は安全性には十分配慮していますが、下記の表示マークおよび警告・注意に関する記載をよくお読みになった上で正しくお使いください。下記の表示マークは、万一にも傷害や損害を与えることのないように、正しく製品をご使用いただくための警告表示マーク・注意表示マークです。

⚠**警告**	このマークの内容を守らなかった場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性があることを示すマークです。
⚠**注意**	このマークの内容を守らなかった場合、使用者等が軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示すマークです。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。（下記は絵表示の例です）

⚠ 記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⃠ 記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ 記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警　告

電源プラグを抜く

次の場合は直ちに使用を中止し、メインスイッチをＯＦＦにして、電池や AC アダプターを取外してください。
また、AC アダプターを使用している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

●煙が出ている、カメラが異常に熱くなる、変な臭いや音がするなどの異常状態のとき
●機器の内部に水などが入ったとき
●異物が機器の中に入ったとき

分解禁止

分解や改造、ご自身での修理はしないでください。
火災や感電の原因となります。
修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、ぬらしたりしないでください。
内部に水が入ると、火災や感電の、故障の原因となります。
水が入ったと思われるときは、直ちに使用を止め、販売店にご相談ください。

禁止

機器の内部に金属物や燃えやすいものを落としたり、入れたりしないでください。
内部に金属物などが入ると、火災や感電、故障の原因となります。

自動車などの乗り物を運転しながらの使用は絶対にしないでください。
交通事故誘発の原因となります。
歩きながら使用するときは、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

不安定な状態で使用しないでください。
特に高所の場合、転落すると死亡や大ケガの原因となります。

安全上のご注意　※必ずお守りください。

⚠ 警告

ファインダーで直接太陽を見ないでください。
失明や視力障害の原因となります。

雷が鳴り出したら本機の金属部に触れないでください。
落雷すると、誘電雷により感電死の原因となります。

指定外の AC アダプターを使用しないでください。
指定外のものを使用すると火災の原因となります。

電池を分解、ショート、加工（半田付けなど）、加熱、加圧（釘で刺すなど）、火中に投入などしないでください。
また、他の金属物（針金やネックレスなど）に接触させないでください。
液漏れ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 注　意

レンズを太陽や強い光源に向けないでください。
集光により、内部部品の破損の原因となり、そのまま使用するとショートや絶縁不良で発熱し、火災の恐れがあります。

電池／カード蓋に指を挟まないようにご注意ください。
挟まれるとケガをする恐れがあります。

飛行機内で使用するときは航空会社の指示に従ってください。
本機が出す電波などにより､飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

目に近づけてフラッシュを発光させないでください。
目を痛める危険があります。

⚠ 注　意

撮影の際にはフラッシュ表面の汚れを清掃し、フラッシュを覆わないようご注意ください。

フラッシュの表面が汚れていたり、フラッシュを覆ったまま撮影すると、フラッシュ発光時の高温により、フラッシュの表面が変質・変色します。

電池を入れるときは、＋／－の向きを確認して正しく入れてください。

間違えると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、ヤケドやケガをする危険があります。

汗や油で汚れた電池は使用しないでください。

もし汚れていたら、乾いた布で良く拭いてから使用してください。

カメラのお手入れをするときは、安全のためＡＣアダプターを外してください。

次の場所に放置しないでください。

●強い直射日光が当たる所や、車の中など高温になる場所

火災や破裂の恐れがあります。

●乳幼児の手の届きやすい所

ストラップを首に巻いて窒息する、電池やカードなどの付属品を飲み込むなどの恐れがあります。

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所

頭や足の上などに落下するとケガにつながるだけでなく、故障の原因にもなります。

●油煙や湯気の当たる所、湿気やほこりの多い所、振動が激しい所

内部に水やほこりが入ったり、激しい振動で内部部品が破損したりすると、発熱や火災、感電の原因になります。

安全上のご注意　※必ずお守りください。

⚠ 注　意

長時間ご使用にならないときは電池を外してください。
長時間電池を外すと、日付／時刻はリセットされますのでご使用の際は再度設定してください。

無理な操作を行なわないでください。
機器が破損してケガの原因となります。

三脚を取り付ける場合、カメラを回してつけないでください。

電池の液漏れ処理ついて

● 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときは、直ぐに水で良く洗い流してください。
● 目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、直ぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。

液晶モニターについて

●液晶モニターは、液晶の特性上、温度変化などで明るさに多少のムラが出ることがあります。
●液晶モニターは、高精度な技術を駆使して開発されており、鮮明度・画質等に優れていますが、画面の一部にドット欠けや常時点灯するドットが存在する場合があります。予めご了承ください。
●万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破損などでケガをする恐れがありますので、十分にご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう十分にご注意ください。

必要なアクセサリー

■付属品をお確かめください。

カメラの他に以下のものが同梱されています。梱包を開封後、速やかに全てのものが入っているかをご確認ください。万一、欠けているものがございましたら直ちに販売店へお問い合わせください。

	日本	日本以外
1） リチウムイオン充電池 NP-600	○	○
2） 充電器 BC-600U	○	○
3） USB ケーブル USB-810	○	○
4） DiMAGE Viewer CD-ROM	○	○
5） ネックストラップ NS-DG130	○	○
6） 使用説明書（本書）	○	—
7） クイックガイド	—	○
8） 保証書	○	○
9） SD メモリーカード	○	○

■本製品は、以下の電源でご使用になれます。

1 ）リチウムイオン充電池（同梱品または別売品）

・電池および充電器の説明書をよくお読みになり、注意に従ってご使用ください。

・カメラで充電はできません。

・充電式電池を廃棄する場合は、電池を購入したお店の回収システムに 従うなどリサイクルにご協力ください。その他の電池を廃棄する場合は、その地域の条例に従ってください。

・撮影可能枚数は、充電式電池の性能や使用状況により変化します。

※電池寿命については、P22 をご覧ください。

2）ご家庭の電源コンセント

・ 専用の AC アダプター AC-9U（別売）をつなぎます。

■別売品

● AC アダプター AC-9U

●リチウムイオン充電池 NP-600

●カメラケース CS-DG700

必要なアクセサリー（つづき）

■対応記録媒体

同梱品の他、市販の下記カードがご使用になれます。

- **SD メモリーカード**
- **マルチメディアカード**
- **メモリースティック**

■ SD メモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックについて

⚠ 注 意：

SD メモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックは精密な電子部品で作られています。次のような操作は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に行なわないでください。

●端子部に手や金属で触れないでください。静電気によって部品に損傷が生じる恐れがあります。SD メモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックを扱う前に、必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電にしている静電気を放電させてください。

●曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。

●熱、水分、直射日光を避けて使用、保管してください。

●読み込みや書き込みが終了するまでは絶対に電池／カード蓋を開けないでください。また、SDメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックを抜かないでください。

●分解や改造はしないでください。

＊ SD ロゴは商標です。

＊ “ Memory Stick ”（“ メモリースティック ”）および MEMORY STICK TM は、ソニー株式会社の商標です。

重要！

誤動作や故障などにより、記録内容が失われる場合がありますが、これによる損害賠償等の責任を当社では一切負いかねますので予めご了承ください。

●大切なデータは必ずバックアップを取ってください。

●SDメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックをパソコンで使用する際、SDメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックに保存されているファイル（画像データ）の属性（読み取り専用）を変更しないでください。カメラで消去などの操作を実行したときに正常な動作ができない場合があります。

●パソコンで SD メモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラによる画像データ以外のファイルを書き込んだりしないでください。
その SD メモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックを入れても、変更したり新しく入れたりした画像は、カメラで再生できないばかりでなく、カメラの機能に障害を起こすことがあります。

●SDメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックのフォーマットは、必ずカメラ本体で行なってください。
パソコンでフォーマットした場合、SD メモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックが正常に使用できなくなることがあります。

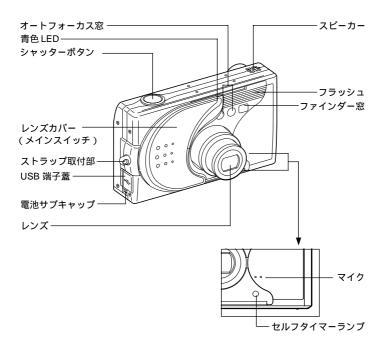
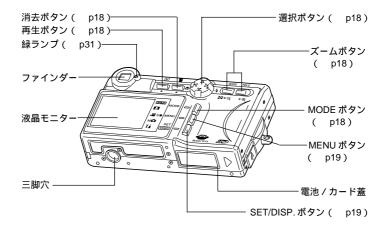
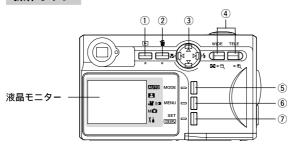
●SD メモリーカードおよびメモリスティックにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。このスイッチをロック方向へスライドさせると、カードへの書き込みが禁止され、カードに保存されている画像などのデータが保護されます。また、ライトプロテクトが掛かっているカードを使っての撮影や消去などはできません。

●大容量のカードを使用する場合、カードチェックや消去が遅くなる場合があります。

●マルチメディアカードを使用した場合は、SDメモリーカードに比べて、撮影・再生時の動作応答時間が低下しますが、カード自体の仕様に基づくもので、故障ではありません。

本　体

オートフォーカス窓
青色 LED
シャッターボタン
スピーカー
フラッシュ
ファインダー窓
レンズカバー
（メインスイッチ）
ストラップ取付部
USB 端子蓋
電池サブキャップ
レンズ
マイク
セルフタイマーランプ

消去ボタン（→ p18）
再生ボタン（→ p18）
緑ランプ（→ p31）
ファインダー
液晶モニター
三脚穴
選択ボタン（→ p18）
ズームボタン（→ p18）
MODE ボタン（→ p18）
MENU ボタン（→ p19）
電池／カード蓋
SET/DISP. ボタン（→ p19）
WIDE
TELE
AUTO
MODE
MENU
SET
DISP.

操作ボタン

① ▶ 再生ボタン

撮影した画像の再生、または再生メニューの設定時に使用するボタンです。
このボタンを使用する場合、カメラの電源はオン／オフ（p28）どちらの状態であっても構いません。

② 🗑 消去ボタン

不要な画像を消去するときに使用します。

③選択（▲、 ▼、 ◀、 ▶） ボタン

▲、▼、◀、▶ のいずれかを押してメニューや画像などを選択します。
次の場合に使用します。

・撮影モードの選択　・メニューの選択　・画像の選択
・拡大表示した画像のスクロール
・シャッター速度や絞り値の設定

④ズームボタン

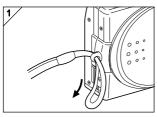
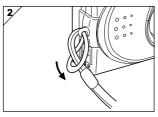
光学ズームやデジタルズーム、インデックス再生などを行うときに使用します。

⑤MODE ボタン

撮影モードやセットアップモードの選択を行うときに使用します。

⑥MENUボタン
メニュー画面を表示させるときに使用します。
また、メニューの設定をキャンセルしたいときにも使用します。

⑦SET／DISP.ボタン
選択したメニューの内容を確定させるときに使用します。
また､液晶モニターの消灯／点灯､画像情報の表示／非表示を切替えるときにも使用します。

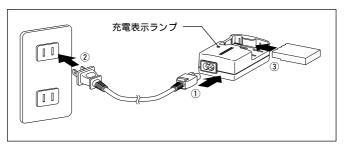
ストラップの取付け方

1. ストラップ取付部にストラップ先端の細いヒモの部分を通します。

2. 通したヒモの輪に、もう一方のストラップの端を通して引っ張ります。

⚠ **警 告：**
使用するときは、ストラップが首に巻きつかないように注意してください。特に、幼児や児童の首にかけないでください。誤って首に巻きつくと窒息の恐れがあります。

⚠ ぶら下げて持ち運ぶときは、カメラをぶつけないように注意してください。

電源を準備する

電池（付属品）を充電する

●はじめて電池をご使用になるときや、カメラの液晶モニターに「バッテリーがありません」というメッセージが表示されたときは、電池を充電してください。

1．充電器に電源コードを接続します。

2．電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。

3．電池を充電器に差し込みます。

＊充電中は充電表示ランプが赤く点灯します。充電が終わると緑色の点灯に変わります。

＊充電時間は約120分です。

4．充電終了後、充電器から電池を取り出し、電源プラグをコンセントおよび充電器から外してください。

＊周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。

＊充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。

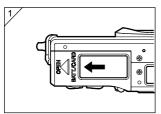
＊お買い上げ時や長時間使用しなかった場合は、ご使用になる前に必ず充電してください。

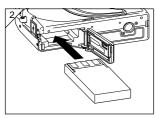
＊電池の寿命がくると、正しい充電を行なっても使用できる時間が短くなります。その場合、新しい電池（別売、リチウムイオン充電池NP-600）と交換してください。

＊充電中、充電器や電池が暖かくなりますが異常ではありません。

＊電池接片が汚れている時は柔らかい乾いた布で拭き取ってください。汚れていると正しく充電されなかったり、充電時間が長くなることがあります。

電池（付属品）を入れる

●電池を入れるときや交換するときは最初に、カメラの電源がオフ（p28）であること、液晶モニターが消灯していることを確認し全てのスイッチをオフの状態にしてください。

1．電池／カード蓋を矢印方向にスライドさせて開きます。

⦸濡れた手で操作しないでください。感電する恐れがあります。

2．電池の端子側をカメラの前面に向け、電池を挿入します。
電池が正しく装着されたことを確認した後、電池／カード蓋を確実に閉めてください。

＊電池は必ず正しい向きで入れてください。向きを間違えると、液漏れや発熱などにより、ケガや汚損、あるいはカメラが損傷する恐れがあります。

●電池残量の目安

電池残量が少なくなると、電池残量表示が次のように変化します。
（電池残量は、液晶モニターに 2 段階で表示されます）

1）電池残量は充分です。

2）電池残量が不足しています。電池を交換（充電）してください。

●電池寿命の目安（参考値）

撮影枚数		連続再生時間
液晶モニター ON 時	液晶モニター OFF 時	
約 185 枚	約 330 枚	約 200 分

＊当社試験条件：常温常湿、フラッシュ 50%発光、30 秒間隔で撮影、ズーム操作 1 方向 1 回、2272 × 1704pixel
＊電池寿命は、使用環境や撮影モード、撮影状況などにより異なります。
＊上記数値は参考値であり、保証値ではありません。
＊以下の条件では撮影をしなくても電力が消費してしまいますので、撮影可能枚数が減少することがあります。
- ・何度もシャッターボタンを半押しして、フォーカス動作を繰り返す
- ・ズーム動作を繰り返す
- ・再生モードで長時間液晶モニターを点灯させる
- ・パソコンとの通信時

⚠ 注意

- ・電池を長時間連続使用した後は電池が熱くなっていますので、やけどにご注意ください。
- ・カードのアクセス中や画像処理中（p36）のときは、電池／カード蓋を絶対に開けないでください。
- ・電池（NP-600）は、付属の充電器（BC-600U）以外で充電しないでください。また、付属の充電器（BC-600U）で、当社の専用電池（NP-600）以外は充電しないでください。
- ・電池を高温になる車内や炎天下、暖房器具の近くなど、60℃以上になる所に放置しないでください。
- ・水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

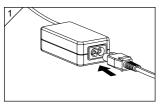
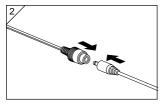
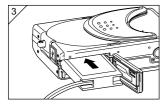
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

●この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
●この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
●交換後不要になった電池､および使用済み製品から取外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか､ポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池リサイクルＢＯＸに入れてください。
●リサイクル協力店へのお問い合わせは以下へお願いします。
・製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
･「リサイクル協力店くらぶ事務局」
ホームページ http://www.baj.or.jp/shop/index.html

リサイクル時のご注意

⃠電池はショートさせないでください。火災や感電の原因となります。
⃠外装カバー（絶縁被覆・チューブなど）を剥がさないでください。電池の液漏れや発熱、発火、破裂の原因となります。
⃠電池を分解しないでください。液漏れや発熱、発火、破裂の原因となります。

AC アダプター（別売）をつなぐ

●電池の消耗を気にせずに、撮影・再生・データ転送（USB 接続）するには、専用の AC アダプター AC-9U（別売）のご使用をおすすめします。
● AC アダプターは必ず専用（別売）のものをご使用ください。指定外のものをご使用になった場合、故障や火災、感電の恐れがあります。
●最初に、カメラの電源がオフであること、液晶モニターが消灯していることを確認し、全ての電源をオフの状態にしてください。
●本書の「安全上のご注意」（p8～12）と、AC アダプターに付属の注意書を参照の上、正しくお取り扱いください。

1．電源コードにACアダプターを接続し、電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。

2．バッテリータイプアダプターの接続プラグを AC アダプタープラグに差し込みます。

3. 電池／カード蓋を開けた後、電池サブキャップを外します。
電池室にバッテリータイプアダプターを差し込み、電池／カード蓋を確実に閉めます。

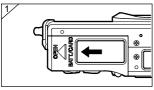
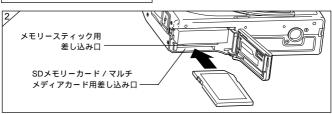
※ 使用後は、必ずカメラの電源をオフにし、AC アダプタープラグからバッテリータイプアダプターの接続プラグを抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⃠ 濡れた手で操作しないでください。感電する恐れがあります。

カードを入れる／取り出す

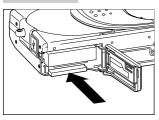
●同梱のカードまたは市販のカードをご使用ください。
市販のカードをご使用の場合は、SDメモリーカード／マルチメディアカード／メモリースティックのいずれかをご用意ください(以下、全てをカードと呼びます)。

●最初に、メインスイッチがオフ（レンズカバーを閉じた状態）であること、液晶モニターが消灯していることを確認し、全ての電源をオフの状態にしてください。電源が入っているとカメラ本体やカードが破壊する恐れがあります。

入れ方

1．電池／カード蓋を開けます。

2．カードのラベルをカメラ前面に向け、カードの切り欠き部を差し込み口に向けて、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

＊カードは必ず正しい向きで入れてください。挿入方向を間違えて無理に差し込むとコネクタ部が破壊されてしまいます。
＊カードの差し込み口は2つ有ります。SDメモリーカードまたはマルチメディアカードを使用する場合はカメラ前面に対して後ろ側に、メモリースティックを使用する場合は手前側に差し込んでください。

3．電池／カード蓋を元の通りに閉めてください。

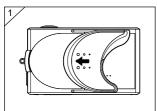
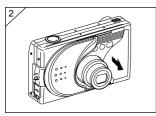
取り出し方

1. 電池／カード蓋を開けます。

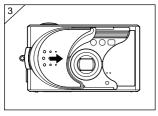
2. 挿入されているカードを軽く押し込むとロックが外れ、カードが少し出てきます。カードが出てきたら抜き取ってください。

3. 電池／カード蓋を元の通りに閉めてください。

注意！ ＊カードの出し入れは必ず全ての電源をオフにし、ファインダーLEDの緑ランプが消灯していることを確認してから行なってください。
カードのアクセス中、または画像処理中などの場合は、液晶モニターに「カードアクセス中」または「コピー中です」などが表示され、緑ランプが点灯します。
緑ランプの点灯中に電池／カード蓋を開けると､画像の書き込みが中断され、動作が正常に行なわれないことがあります。緑ランプ点灯中は絶対に電池／カード蓋を開けないでください。

※このカメラでは、SD メモリーカード（またはマルチメディアカード）とメモリースティックの組み合わせで2枚同時に差し込んでおくことができます。
この場合、先に使用していたカードに優先して記録します。メニュー設定により切り替えることもできます（p60)。

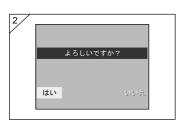
電源のオン／オフ操作

1．レンズカバー（メインスイッチ）を、矢印方向へ止まるまでゆっくりスライドさせて開けます。

2．レンズが撮影位置（広角側）まで繰り出して、カメラの電源がオンになります。

＊電源オンで液晶モニターが点灯し、スルー画像（レンズを通した画像）が映し出され、撮影可能な状態になります。

3．電源をオフにするときは、レンズカバーを一度矢印方向に少しスライドさせてください。
電源がオフになり、レンズが収納されます。レンズが最後まで収納されたことを確認の上、レンズカバーを最後まで閉じてください。

メニューの言語／日付・時刻を合わせる

●カメラを購入後はじめて使用するときは、言語選択および日時設定画面が自動的に表示されます。以下の手順で言語と日付・時刻の設定をしてください。
●充分に充電された電池、またはＡＣアダプター（別売）が装着されていることを確認してください。

1．レンズカバーを開きカメラの電源をオンにするか、または▶再生ボタンを押します。

自動的に言語選択画面が液晶モニターに表示されます。▼または▲ボタンを押して希望の言語を選択し、ＳＥＴ/DISP. ボタンを押します。

2．言語選択の確認画面が表示され､「はい」が選択されていますので、SET/DISP. ボタンを押します。

＊▶ボタンで「いいえ」を選択してSET/DISP.ボタンを押すと､設定を無効にして１の画面に戻ります。

※言語選択が完了すると､続けて「日時設定」画面が表示されます。

3．「年」が選択されています。◀または▶ボタンを押して「年」を合わせます。

＊2050年12月31日までの日付・時刻が設定できます。

4．1）「年」を合わせたら、▼ボタンを押します。「月」の設定モードに入ります。
2）p29－3と同様に、◀または▶ボタンを押して「月」を合わせます。

＊上記1）と2）の操作を繰り返して日付と時分、日付形式を合わせます。
＊日付形式は、yy/mm/dd、dd/mm/yy、mm/dd/yy の中から選択できます。
＊▲ボタンを押すと前の設定画面に戻り選択し直すことができます。

5．設定が全て終わったら SET/DISP. ボタンを押します。

6．設定完了後は・・・、
・カメラのメインスイッチをオン（レンズカバーを開く）にしてから設定した場合は、レンズが広角位置まで繰り出し撮影可能な状態になります。
・▶再生ボタンを押して設定した場合は、再生画像になります。

＊日付・時刻は、バックアップ電池によって保持されます。カメラの電池を抜いたままでも約２４時間は内容が保持されます。
長時間電池を抜いていた場合は、再設定してください（p119）。
＊バックアップ電池が未充電の場合には、日付・時刻が保持されません。
日付・時刻を合わせた後、カメラの電池を３時間位は抜かないでください。

カメラの構え方

●カメラは、両手でしっかり持ち、ヒジを軽く締めると構えが安定します。
●縦位置の撮影では、フラッシュが上になるように構えてください。

＊構えた指や毛髪、ストラップなどが、レンズやフラッシュ、オートフォーカス窓などに掛からないようにご注意ください。

ファインダー LED ランプ

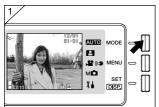
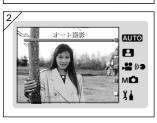
●ファインダー LED

ファインダーＬＥＤ（緑ランプ）の表示状態と意味は次の通りです。

・点灯；撮影準備完了、フラッシュ充電中、カードフォーマット中、USBケーブル接続中、カードアクセス中
・点滅；手ぶれ警告（フラッシュオフ時）、オートフォーカス(AF)不能警告、カードの容量不足／不良／フォーマット異常表示、電池残量不足警告、システムエラー

＊マクロ撮影時（p46）は、液晶モニターを使った撮影（p34）をおすすめします。ファインダーを使って撮影（p40）すると、実際に見える範囲と写る範囲にずれが生じます。

撮影モードを選択する

●被写体や撮影状況に合わせて撮影モードが選択できます。

1. レンズカバーを開けて電源をオン（スルー画像）にした後、MODE ボタンを押します。

2. ▲または▼ボタンを押すと撮影モード表示が動きますので、希望のモードを選択します。

3. 選択後、SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態（スルー画像）に戻ります。

●選択できるモード

- **AUTO オート撮影**
  通常モードです。ほとんどの設定をカメラまかせで撮影できます(p34)。
- **シーンセレクト**
  撮影シーンに合わせたモードに設定するとカメラまかせで撮影できます(p62)。
- **ムービー／音声**
  音声付きのムービー撮影（p42）などが行えます。
- **M マニュアル撮影**
  より細かな設定で思い通りの撮影ができるモードです（p74）。
  初期設定は「プログラムモード」となっています（p76）。
- **セットアップ**
  セットアップメニューの各項目を設定することで、自分に合った使いやすい状態でカメラを使用することができます(p106)。

＊撮影状況に合わせて各種設定を行い、撮影してください。各モードで設定できる機能については、p33 をご覧ください。

●各モードで設定できる機能（メニュー）

1．オート撮影（p54）

- ・カラー設定 （p56）
- ・連　写 （p57）
- ・画像サイズ （p58）
- ・優先メモリー （p60）
- ・セルフタイマー （p61）

2．シーンセレクト（p62）

- ・シーン撮影 （p64）
- ・連　写 （p57）
- ・画像サイズ （p58）
- ・優先メモリー （p60）
- ・セルフタイマー （p61）

3．ムービー／音声（p66）

- ・アフレコ （p68）
- ・ボイスメモ （p70）
- ・露出補正 （p71）
- ・ホワイトバランス （p72）
- ・優先メモリー （p60）
- ・セルフタイマー （p61）

4．マニュアル撮影（p74）

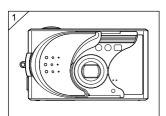
- ・プログラム （p76）
- ・絞り優先 （p78）
- ・マニュアル露出 （p79）
- ・連写＆ブラケット （p81）
- ・画像サイズ （p58）
- ・優先メモリー （p60）
- ・セルフタイマー （p61）
- ・カラー設定 （p56）
- ・露出補正 （p71）
- ・ホワイトバランス （p72）
- ・ISO 感度 （p82）
- ・フォーカス固定 （p82）
- ・カスタム設定 （p83）

5．セットアップ（p106）

- ・フォーマット （p108）
- ・モニター （p110）
- ・撮影設定 （p113）
- ・サウンド （p117）
- ・基本設定 （p118）

＊メニューの設定方法および各メニューの詳細については、各参照ページをご覧ください。

液晶モニターを使って撮影する

●「オート撮影」モードを使った静止画の基本的な撮影方法について説明します。
●充電された予備の電池（別売、リチウムイオン充電池NP-600）のご準備、または AC アダプター AC-9U（別売）のご使用をおすすめします。

1. レンズカバーを開けて電源をオンにします。

＊ 前面のレンズが汚れていたら柔らかい乾いた布できれいに拭きとってください。

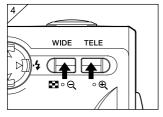
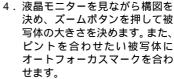
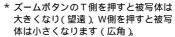
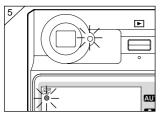
2. 液晶モニターが点灯し、スルー画像（レンズを通した画像）が映し出されます。

＊日時表示は約 5 秒間で消灯します。

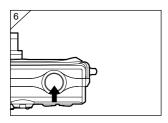
3. 撮影モードを「オート撮影」に設定します（p32）。

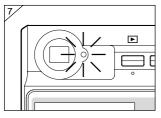
＊ 撮影モード(■マーク) が AUTO の位置にあることを確認します。

4．液晶モニターを見ながら構図を決め、ズームボタンを押して被写体の大きさを決めます。また、ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスマークを合わせます。

＊ズームボタンのＴ側を押すと被写体は大きくなり（望遠）、W側を押すと被写体は小さくなります（広角）。

＊ピントを合わせる被写体が画面中央にないときは「フォーカスロック撮影」（p41）を行ってください。

5．シャッターボタンを半押しにしてください。ファインダーLEDと液晶モニター内の緑ランプが点灯しピントと露出が固定されます。

＊また、AFアイコンが点灯します。

＊シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは、ピントが合わない可能性があります。p37をご覧ください。

6．シャッターボタンをさらに深く押し込み、シャッターをきってください。音が鳴れば撮影は完了です。
このあと、画像をカードに書き込む動作が開始されます。

＊サウンド設定（p117）で「シャッター音」の設定をオフにすると音は鳴りません。

7. カードへの書き込み中はファインダーLEDの緑ランプが点灯します。
緑ランプの点灯が消灯したら記録の完了です。

＊ カードへの書き込み処理が完了するとスルー画像に戻ります。
＊ カードへの書き込み中は他の操作はできません。

⊘ **緑ランプの点灯中は、電池／カード蓋を絶対に開けないでください。**

8. 撮影が終わったら、レンズカバーを閉じて電源をオフにしてください。

日中（通常）撮影の距離

焦点距離	撮影距離
広角側（※ 1）	0.5m 〜 ∞
望遠側（※ 2）	0.8m 〜 ∞

※ 1. 135 サイズカメラ換算で34mm 相当
※ 2. 135 サイズカメラ換算で101mm 相当

＊上記範囲よりも近くのものを撮影したいときは、マクロ撮影モードをご使用ください（p44、p46）。

●シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは・・・

ピントを合わせにくい被写体か、被写体が暗すぎる（またはその両方）可能性があります。このような場合、以下の手順を実行してください。

・被写体に近すぎないことを確認し、被写体をオートフォーカスマークに合わせてください。（撮影距離については p36 をご参照ください）
・被写体が暗い場合（日陰の人物など）は、フラッシュを使用してください。（p44 ～ 46）
・異なる被写体を使用してオートフォーカスと露出を合わせてください。同じ明るさで同じ距離のものに向けてフォーカスロックをしてから撮影します。（p41）

●オートパワーオフ機能について

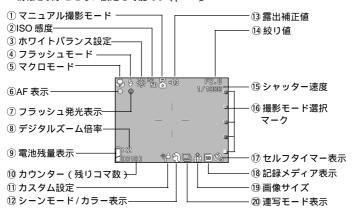
レンズカバーを開けてカメラの電源をオンのまま一定時間以上操作を行なわなかった場合は、オートパワーオフ機能が働き、電源がオフ状態（休止状態）になります（レンズが収納されます）。

※撮影が終了したり長時間撮影しない場合は、レンズカバーを閉じておいてください。
※カメラの電源がオフになる時間は、初期値では「3分」に設定されています。設定時間はセットアップメニューによって変更することができます（p119）。
※AC アダプター使用時も、オートパワーオフ機能が働きます。
※USB ケーブル接続時(p122）にはオートパワーオフ機能は働きません。

●撮影画像表示

液晶モニターを使った撮影では画像の他に、次のような情報が表示されます。

＊情報を表示させない設定も可能です（p111）。

・項目の横にあるマークは、そのマークのモードで設定可能あるいはそのモードが選択されているときに表示される項目であることを表しています。
AUTO オート撮影、シーンセレクト、ムービー、M マニュアル撮影

① マニュアル撮影モード M

マニュアル撮影モードに設定した場合、選択されている撮影モードが表示されます。設定方法は、p74 ～ p79 をご覧ください。

②ISO 感度 M

ISO 感度を固定した場合に表示されます。設定方法は p82 をご覧ください。

③ ホワイトバランス設定 M

ホワイトバランスを固定した場合に表示されます。設定方法は p72 をご覧ください。

④ フラッシュモード AUTO M

選択されているフラッシュモードが表示されます。設定方法は p44 ～ p46、p114 をご覧ください。

⑤ マクロモード AUTO M

1) マクロ撮影（p46）設定時に表示されます。
   マクロ設定以外のときはシャッターボタン半押しでピントが合うと **AF** アイコンが点灯します。

2) フォーカス固定 M
   フォーカス固定（p82）設定時に、選択した撮影距離が表示されます。

⑥AF 表示 AUTO 🅑 🎥 M📷

1) シャッターボタンを半押ししてピントが合うと点灯します。ピントが合っていないときは点滅します。
2) AF 固定 M📷
   AF 固定機能使用時（p77）には AF アイコンが表示されます。

⑦ フラッシュ発光表示 AUTO 🅑 M📷

1) フラッシュ発光時に点灯します。
2) AE 固定 M📷
   AE 固定機能使用時（p77）には AE アイコンが表示されます。

⑧ デジタルズーム倍率 AUTO 🅑 M📷

デジタル機能（p114）使用時に表示されます。

⑨ 電池残量表示 AUTO 🅑 🎥 M📷

電池を使用している場合に電池残量を2 段階（p21）で表示します。

⑩ カウンター AUTO 🅑 M📷

1) 撮影可能な残りコマ数が表示されます。
2) 残り容量表示🎥
   ムービー撮影時にはカードの残り容量が表示されます。

⑪ カスタム設定 M📷

カスタム機能（p83）設定時に表示されます。

⑫ シーンモード 🅑 /
カラー表示 AUTO M📷

1) シーンモード撮影（p64）時に選択されている撮影モードを表示します。
2) カラーモード（p56）設定時には選択されているカラーアイコンが表示されます。

⑬ 露出補正値 🎥 M📷

露出補正値が表示されます。設定方法は p71、p77 をご覧ください。

⑭ 絞り値 M📷

1) プログラムモード（p76）設定時にはシャッターボタン半押しで絞り値が表示されます。絞り優先（p78）またはマニュアル露出（p79）設定時には絞り値が常時表示されます。
2) 日時表示 AUTO 🅑 M📷
   電源をオンにしたときには撮影日時が約 5 秒間表示されます。

⑮ シャッター速度 M📷

プログラムモード（p76）設定時にはシャッターボタン半押しでシャッター速度が表示されます。また、マニュアル露出（p79）設定時にはシャッター速度が常時表示されます。

⑯撮影モード選択マーク AUTO 🅑 🎥 M📷

選択されている撮影モードが液晶モニターパネル上のマークの横に表示されます。

⑰ セルフタイマー表示 AUTO 🅑 🎥 M📷

セルフタイマー撮影（p61）設定時に表示されます。

⑱ 記録メディア表示 AUTO 🅑 🎥 M📷

使用メディアの種類を表示します。

・SD メモリーカードまたは
　マルチメディアカード　：SD
・メモリースティック　　：MS

注）マルチメディアカードを使用の場合でも、「SD」と表示されます。

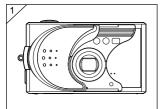
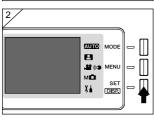
⑲ 画像サイズ AUTO 🅑 M📷

1) 撮影中の画像サイズを表示します。
2) ムービー撮影中は 🎥 アイコンが表示されます。

⑳ 連写モード表示 AUTO 🅑 M📷

連写およびブラケット撮影設定時に表示されます。設定方法は、p57、p81 をご覧ください。（ブラケット撮影は M📷 のみ）

ファインダーを使って撮影する

●ファインダーを使って撮影することもできます。液晶モニターで撮影するときに比べて、電池の消費をおさえることができます。

1．レンズカバーを開けて電源をオンにします。

2．SET/DISP. ボタンを押して液晶モニターを消灯させます。

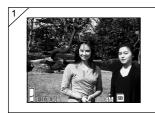
3．ファインダーをのぞいて、ピントを合わせたい被写体が画面中央に入るように構図を決め、撮影します。

＊ファインダーを使っての撮影は、オートフォーカスマークがありません。画面中央に被写体を入れてください。

＊撮影手順は「液晶モニターを使って撮影する」(p34～p36）と同じです。

＊カードへの書き込み処理が完了するとファインダーLEDの緑ランプの点灯が消灯します。

フォーカスロック撮影

●ピントを合わせたい被写体が画面中央から外れる場合は、フォーカスロック撮影をしてください。

1．ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスマークを合わせ、シャッターボタンを半押ししてください。緑ランプが点灯し、ピント位置が固定されます。

＊ファインダーを使っての撮影ではオートフォーカスマークがありませんが、画面中央に被写体を入れてください。

＊フォーカスロックと同時に露出も固定されます。

＊半押しした指をシャッターボタンから離すとフォーカスロックは解除され、やり直しができます。

2．シャッターボタンを半押しにしたまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く押し込みシャッターをきってください。

＊構図を決め直すときに撮影距離を変えないでください。距離が変わったときはやり直してください。

●次のような被写体ではピントが合わせにくいことがあります。

・コントラスト（明暗差）のないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
・横線だけで凹凸のないもの
・動きの速いもの
・低輝度（暗い所）のもの
・強い逆光や反射光があるとき
・蛍光灯などのちらつきがあるもの

以上のようなときは、同じ明るさで同じ距離のものに向けてフォーカスロックをしてから撮影してください。

ムービー（動画）を撮影する

●音声付きのムービー撮影ができます。記録画素数は320 × 240pixelです。
●ムービー撮影は液晶モニターを見ながら行ってください。ファインダーを使っての撮影はできません。

1. レンズカバーを開けて電源をオン（スルー画像）にした後、MODE ボタンを押します。

2. ▲または▼ボタンを押して「ムービー／音声」モードを選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

3. ムービー画面が表示され、撮影可能な状態になります。

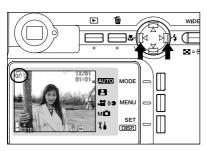
＊ MODEボタンを押すと設定を無効にして2の画面に戻ります。

4．シャッターボタンを押すとムービー撮影がスタートします。

＊ シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
＊ 残り時間がなくなると自動的に撮影が終了します。途中で止めたいときは、シャッターボタンを再度押してください。
＊ 撮影中は、画像右上には経過時間が表示されます。
＊ ムービー画像の再生方法は p50 をご覧ください。

注意：1）撮影と同時に音声が録音されますので、撮影中に指などでカメラ本体前面のマイク（p16 参照）をふさがないようご注意ください。
2）シャッターボタンを押した後（ムービー撮影中）は、光学ズームはできません。
3）デジタルズーム機能（p114）は使用できません。
4）音声なしのムービー撮影はできません。

フラッシュ/マクロモードを選択する

●被写体に応じてフラッシュモードとマクロモードが選択できます。
●一度設定したモードは固定され、そのまま撮影が続けられます。
撮影が終わったらAUTO（表示なし）に戻しておくことをおすすめします。
●カメラの電源をオフにしてもモードは記憶されており、
再度電源をオンにすると電源オフ前のモードに設定されます。

1. 電源をオンにし、液晶モニターを点灯させます。

2. ◀または▶ボタンを押して、液晶モニターに希望のモードアイコンを表示させます。

※▶ボタンを押すと、次のモードが選択できます。
1) AUTO（フラッシュ自動発光）モード（p 45）
2) ⚡ フラッシュ強制発光モード（p 45）
3) フラッシュ発光禁止モード（p 46）
＊▶ボタンを押す毎にモードマークが順次表示され、循環します。

※◀ボタンを押すと、次のモードが選択できます。
1) AUTO（表示なし）（p45）
2) マクロモード（p46）
＊◀ボタンを押す毎にモードマークが順次表示され、循環します。

フラッシュモードを切替える

AUTO（フラッシュ自動発光）モード

●通常モードです。カメラの電源をオンにしたときは、AUTO（フラッシュ自動発光）に設定されています。液晶モニターにアイコンは表示されません。
●暗い所ではフラッシュが自動的に発光します。
フラッシュが発光するときは、シャッターボタン半押しで液晶モニターに⚡AUTOアイコンと赤ランプが点灯します。

＊ フラッシュ撮影後のファインダー LED の緑ランプ点灯は、充電中ですから、この間シャッターはきれません。
＊ フラッシュ発光時のシャッター速度は広角側で最長約 1/60 秒まで、望遠側で最長約 1/100 秒までとなります。手ぶれにご注意ください。
＊ 人物のフラッシュ撮影には「赤目軽減撮影」をおすすめします（p114）。

フラッシュ撮影の距離（ISO：100）

焦点距離	撮影距離
広角側（※ 1）	0.5m ～ 2.1m
望遠側（※ 2）	0.8m ～ 1.2m

※ 1. 135 サイズカメラ換算で 34mm 相当。
※ 2. 135 サイズカメラ換算で 101mm 相当。

＊ 撮影範囲を外れた場合、近すぎると画面が明るすぎることがあり、遠すぎるとフラッシュ光が届かず暗い画面になることがあります。撮影後、液晶モニターで撮影画像を確認することをおすすめします。
＊ 上記の撮影範囲はマクロモードを除きます。

⚡ フラッシュ強制発光モード

●日陰や人工照明下などで人物の顔にかかった強い陰をやわらげるときや、逆光のときなどにお使いください。
●周囲の明るさに関係なく、常にフラッシュが発光します。

フラッシュ/マクロモードを選択する（つづき）

フラッシュ発光禁止モード

●フラッシュ使用が禁止されている場所（美術館など）や夜景、室内照明を利用して撮影するときなどにお使いください。
●暗い場所でもフラッシュは発光しません。

＊ 暗い場所ではシャッター速度が遅くなりますので､手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。
＊ シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは光量不足で写真が暗くなる警告です。

至近距離を撮影する

マクロモード

●被写体に近づいて撮影したいときにお使いください。
●被写体の距離が近いと、ファインダー内の画像と実際に写る範囲にずれが生じます。液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
●ズームボタンを望遠側いっぱいに押した後に ◀ ボタンを押すと、「スーパーマクロモード｣となり､望遠側での撮影がさらに近距離で行えます。

＊ 近距離の撮影では手ぶれを防ぐため、三脚のご使用をおすすめします。
＊ 近距離でのフラッシュ撮影では撮影した画像が明るすぎることがあります。フラッシュ撮影の距離は p45 をご覧ください。

マクロ撮影の距離

	焦点距離	撮影距離
マクロモード（通常）	広角側	5cm ～ ∞
	望遠側	0.5m ～ ∞
スーパーマクロモード	望遠側	0.2m ～ 0.4m

撮影した画像を再生する

●撮影した画像を液晶モニターに再生することができます。
●画像再生の際、カメラの電源はオン／オフどちらの状態であっても構いません。
●電池の消耗に備えて、充電された予備の電池（別売、リチウムイオン充電池 NP-600）のご準備、もしくは AC アダプター AC-9U（別売）のご使用をおすすめします。

1．▶ 再生ボタンを押すと、液晶モニターには、最後に撮影した画像が再生されます。

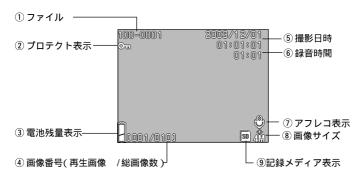
＊撮影された画像データがない場合は、「データがありません」と表示されます。

2．◀または▶ボタンを押す毎に、前の画像または次の画像が再生されます。

＊ ズームボタンのW側を押すとインデックス再生されます。再生後の操作は、p89-2 〜 3 をご覧ください。
＊ ズームボタンのＴ側を押すと拡大表示されます。詳しくは p90 をご覧ください。
＊ 電源オンの状態で､通常の画像サイズが表示されているときにシャッターボタンを半押しするとスルー画像になり、撮影可能な状態に戻ります。
＊ 再生が終わったら、電池の消耗を防ぐために再度 ▶ 再生ボタンを押して、液晶モニターを消灯させてください｡また､撮影しない場合はレンズカバーを閉じて電源をオフにしておいてください。

●再生画像表示

液晶モニターには画像の他に、次のような情報が表示されます。
＊ 情報を表示させない設定も可能です（p 111）。

① ファイルNo

1) カード内に記録されている「ディレクトリ番号」と「ファイル番号」を表示します。
2) 画像を拡大して再生（デジタルズーム）した場合はズーム倍率が表示されます。

② プロテクト表示

画像がプロテクトされている場合に表示されます。

③ 電池残量表示

電池を使用している場合に電池残量を2段階（p21）で表示します。

④ 画像番号

このカメラで再生できる最大コマ数は999枚です。カード内に999枚を超える画像ファイルがある場合は、再生が実行されないことがあります。

⑤ 撮影日時

撮影したときの日時を表示します。

⑥ 録音時間

ムービー画像または音声画像を再生した場合、録音時間が表示されます。また、音声の再生中は再生時間を表示します。

⑦ アフレコ表示

静止画像が音声付きの場合に表示されます。

⑧ 画像サイズ

1) 通常は、画像サイズを表示します。
2) ムービー画像では 🎥 アイコンが表示されます。
3) ボイスメモ画像では 🔊 アイコンが表示されます。

⑨ 記録メディア表示

使用メディアの種類を表示します。

・SD メモリーカードまたは
　マルチメディアカード　：SD
・メモリースティック　　：MS

注) マルチメディアカードを使用の場合でも、種類は「SD」と表示されます。

再生する（つづき）

ムービー（動画）を再生する

●ムービー撮影（p42）した画像を再生します。

1．▶ 再生ボタンを押した後、◀または▶ボタンを押して、見たいムービー画像を選択します。

＊ムービー画像には 🎥 アイコンが表示されます。

2．シャッターボタンを押すとムービー画像が再生されます。
再生が終わると１の画像に戻ります。

＊ムービー再生中は、再生（経過）時間のみが表示されます。
＊再生を途中で止めたい場合は、シャッターボタンを再度押してください。

撮影した画像を消去する

●不要な静止画像やムービー画像などを消去することができます（1コマまたは複数コマ、全コマを選択可能）。
●消去した画像は元に戻せません。
●プロテクト（p101）されている画像は、プロテクトを解除しないと消去できません。

1. ▶ 再生ボタンを押した後、◀または▶ボタンを押して、消去したい画像を選択します。

＊全コマまたは複数コマを消去する場合は、どの画像が表示されていても構いません。

2. 🗑 消去ボタンを押すと、コマ選択画面が表示されます。
▲または▼ボタンを押して「1コマ」(選択されている画像)、「選択コマ」、「全コマ」のいずれかを選択します。

＊消去をやめる場合は、「キャンセル」を選択してSET/DISP.ボタンを押してください。1の画像に戻ります。

3. SET/DISP.ボタンを押すと消去が開始され、「消去中です」画面が表示されます。消去が完了すると再生画像に戻ります。

＊撮影された画像データがない場合は、「データがありません」と表示されます。

＊「選択コマ」を選択した場合は、p52をご覧ください。

●「選択コマ」を選択した場合

1

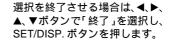
1. p51-2で「選択コマ」を選択してSET/DISP. ボタンを押した場合は8コマの画像が表示されます。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、消去する画像を囲んで SET/DISP. ボタンを押します。

＊ 先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと 8 枚とも次の画像に入れ替わります。

2

2. 選択した画像は黄枠で囲まれます。他の画像も選択する場合は再度選択操作を行います(1 の操作へ戻る)。

選択を終了させる場合は、◀、▶、▲、▼ボタンで「終了」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

3

3. 確認画面が表示されます。実行する場合は ◀、▶ ボタンで「はい」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊「いいえ」を選択しSET/DISP.ボタンを押すと、消去を実行せずに再生画像に戻ります。

4. 「消去中です」画面が表示されます。
   消去が完了すると再生画像に戻ります。

オート撮影モードメニューを使う

●「オート撮影」モードで設定できるメニューについて説明します。
●各メニューで設定した内容は、特に記載のない限り電源のオン／オフに関わらず設定を変えるまで保持されます。

●設定できるメニュー

・カラー設定　：通常のカラー撮影の他に白黒やセピア色などでも撮影ができます（p56）。
・連写設定　：連写撮影ができます（p57）。
・画像サイズ設定　：3 種類の画像サイズが選択できます（p58）。
・優先メモリー設定　：優先メモリーが選択できます（p60）。
・セルフタイマー設定：セルフタイマー撮影ができます。（p61）。

1.「オート撮影」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

2. MENU ボタンを押すと、設定可能なメニューのアイコンが表示されます。

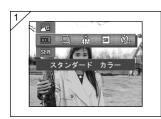
3. ◀、▶ ボタンで設定したいメニューを選択します。

4. ▲、▼ボタンでメニューの中から希望のモードを選択します。

5. SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態（スルー画像）になります。
液晶モニターには選択したモードアイコンが点灯します

＊ 続けて他のメニューも設定する場合はSET/DISP.ボタンを押さずに、◀、▶ボタンを押して設定するメニューを選択します。

色効果を切替える

●色の効果を変えて撮影することができます。
●「マニュアル撮影（p74）」のモードメニューでも設定可能です。

1．カラー設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「スタンダードカラー」が表示されます。

2．▲、▼ボタンで希望の色モードを選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

●設定できるモード

- COL スタンダードカラー（初期設定）：通常のカラー撮影モードです。
- BW 白黒　　：白黒で撮影ができます。
- SEPI セピア　　：セピア色で撮影ができます。
- W W（ウォーム）カラー：暖色系の色相で、ネガフィルムのようにやや軟調な設定となります。
人物や夕焼けなどの撮影に適しています。
- C C（コールド）カラー：寒色系の色相で、リバーサルフィルムのようにやや硬調な設定となります。
風景などの撮影に適しています。

連続して撮影する

●シャッターボタンを押している間、連続して撮影ができます。
動きのある被写体を連続的に撮影するときに適したモードです。
●「シーンセレクト（p62)」、「マニュアル撮影（p74)」のモードメニューでも設定可能です。

1. 連写設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「単写モード」が表示されます。

2. ▲、▼ボタンで希望の連写モードを選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

●設定できるモード

・□ 単写モード（初期設定）：通常の1コマ撮影モードです。

・連写モード：シャッターボタンを押している間、連続して撮影ができます。

・スーパー連写モード：撮影間隔が高速となり、連続撮影枚数は最大3コマとなります。
ファインダーを使って撮影してください。連写中、液晶モニターに画像は表示されません。

＊1コマ目で露出とピントが固定されます。
＊フラッシュが発光する場合はフラッシュの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。
＊撮影間隔は被写体や撮影条件などによって変化します。

画像サイズを選択する

●目的に応じて3種類の画像サイズが選択できます。
●同じカード上で、各画像毎に異なる画像サイズを設定することができます。画像サイズを切替えるたびに撮影可能な枚数も変更されます。撮影可能枚数は液晶モニター上に表示されます。
●「シーンセレクト（p62）」、「マニュアル撮影（p74）」のモードメニューでも設定可能です。

1. 画像サイズ設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「4メガ ノーマル」が表示されます。

2. ▲、▼ボタンで希望の画像サイズを選択します。
SET/DISP.ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

●各画像サイズと画素数（横）×（縦）

1) 4M 4メガ：2272 × 1704pixel（約387万画素）
最高の画質となります。大事な画像を保存しておきたいときや、パソコンに取り込んで編集したいときに適したモードです。また、大きいサイズでプリントするときにも適しています。
より良い画質で撮影したいときは「ファイン」を選択してください。

2) 2M 2メガ：1600 × 1200pixel（約192万画素）
通常の記念撮影などをパソコンの画面に表示したり、プリントする場合に適したモードです。

3) VGA VGA：640 × 480pixel（約30万画素）
ファイルサイズが小さく、メールで画像を送信したり、ホームページ上に掲載する写真を撮影するなどの用途に適したモードです。

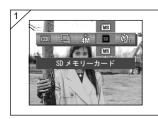
●各画像サイズの撮影可能枚数の目安（音声・動画なし）

画像サイズ	圧縮率	ＳＤメモリーカード １６ＭＢ使用時
4 メガ（2272 × 1704）	ファイン	約 8 枚
	ノーマル	約 16 枚
2 メガ（1600 × 1200）	ノーマル	約 33 枚
VGA （640 × 480）	ノーマル	約 133 枚

＊ 撮影する被写体によって撮影可能枚数が増減することがあります。
＊ 画像以外のファイルがあるとき、画像サイズや撮影モードを切替えながら撮影した場合は、撮影可能枚数はこの表の限りではありません。表の数値は目安としてください。

優先メモリーを選択する

●カメラ内に、SDメモリーカード（またはマルチメディアカード）とメモリースティックの2枚を入れた場合どちらのカードを優先して記録させるかを選択できます。

●「シーンセレクト（p62）」、「ムービー/音声(p66)」、「マニュアル撮影（p74）」のモードメニューでも設定可能です。

1. 優先メモリー設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
　初期設定では「SDメモリーカード」が表示されます。

2. ▲、▼ボタンで優先させるカードの種類を選択します。
   SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

セルフタイマーを使って撮影する

●三脚をご使用ください。
●セルフタイマーの作動時間は、「10 秒」または「3 秒」を選択できます。
●「シーンセレクト（p62）」、「ムービー / 音声(p66)」、「マニュアル撮影（p74）」のモードメニューでも設定可能です。

1

1．セルフタイマー設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
　初期設定では「セルフタイマーオフ」が表示されます。

2．▲、▼ ボタンで「10 秒」または「3 秒」を選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

3．シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅し、10 秒または 3 秒後にシャッターがきれます。

＊セルフタイマーの作動をキャンセルしたいときは、レンズカバーを閉じてください。
＊「10秒」の設定では撮影毎に設定は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、その都度設定し直してください。
「3 秒」の設定では撮影後も設定は保持され、続けてセルフタイマー撮影が行えます。
＊通常の撮影に戻すときは「セルフタイマーオフ」を選択してください。
また、電源をオフにするとモード設定は解除されます。

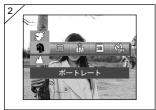
シーンセレクトモードメニューを使う

●「シーンセレクト」モードで設定できるメニューについて説明します。
●各メニューで設定した内容は、特に記載のない限り電源のオン／オフに関わらず設定を変えるまで保持されます。

●設定できるメニュー

・シーンモード：撮影するシーンに合わせて6つのモードが選択できます（p64）。
・連写　　　　　（p57）
・画像サイズ　　（p58）
・優先メモリー　（p60）
・セルフタイマー（p61）

＊「連写」「画像サイズ」「優先メモリー」「セルフタイマー」についてはオート撮影モードメニューで説明した内容と同じです（以降のページでの説明は省略します）。

1. 「シーンセレクト」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

2. MENU ボタンを押すと、設定可能なメニューのアイコンが表示されます。

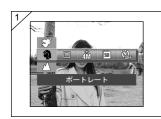
３. p55と同様に、◀、▶ボタンで設定したいメニューを選択します。

４. ▲、▼ボタンでメニューの中から希望のモードを選択します。

５. SET/DISP.ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態（スルー画像）になります。
液晶モニターには選択したモードアイコンが点灯します

＊続けて他のメニューも設定する場合はSET/DISP.ボタンを押さずに、◀、▶ボタンを押して設定するメニューを選択します。

撮影シーンに合わせてモードを選択する

●撮影シーンに合わせたモードで撮影ができます。
●暗い場所では手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

1．シーンモード設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「ポートレート」が表示されます。

2．▲､▼ボタンで希望のシーンモードを選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

●設定できるモード

- ・ポートレート：背景をぼかし､人物を浮き立たせたいときに使うモードです｡立体感のあるソフトなポートレート写真が撮影できます。

- ・風　景：風景や建物などを撮影するときに適したモードです。

- ・夜　景：夜景や夕暮れ、またはそれをバックにした人物のフラッシュ撮影などに適したモードです。
手ぶれを防ぐために必ず三脚をご使用ください。

- ・スナップ：スナップ撮影に適したモードです｡約0.8m～2.5mまでの被写体を撮影できます。
人に撮ってもらうときやオートフォーカスを気にしないで撮りたいとき､オートフォーカスが働きにくい被写体を撮影するときに適しています。
ズーム位置は広角（W）側での使用が効果的です。

- ・スポーツ：スポーツシーンなど動きの速い被写体を撮影するときに適したモードです。

- ・エンジェル：肌色を美しく再現し、また笑顔の瞬間を捕らえるシャッターレスポンスを優先しますので､子供や女性を撮影するのに適したモードです。

ムービー／音声モードメニューを使う

●「ムービー／音声」モードで設定できるメニューについて説明します。

●各メニューで設定した内容は、特に記載のない限り電源のオン／オフに関わらず設定を変えるまで保持されます。

●設定できるメニュー

・ムービー（初期設定）：ムービー撮影ができます(p42)。
・アフレコ　　　　　　：静止画に音声をつけることができます（p68）。
・ボイスメモ　　　　　：音声のみを録音できます（p70）。
・露出補正　　　　　　：画像の明るさを調整できます（p71）。
・ホワイトバランス　　：光源に合わせて適切なホワイトバランスを設定できます（p72）。
・優先メモリー　（p60）
・セルフタイマー（p61）

＊「優先メモリー」「セルフタイマー」についてはオート撮影モードメニューで説明した内容と同じです（以降のページでの説明は省略します）。

1.「ムービー／音声」を選択し、SET/DISP.ボタンを押します。

2. MENU ボタンを押すと、設定可能なメニューのアイコンが表示されます。

3. p55 と同様に、◀、▶ ボタンで設定したいメニューを選択します。

4. ▲、▼ ボタンでメニューの中から希望のモードを選択します。

5. SET/DISP.ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態（スルー画像）になります。
液晶モニターには選択したモードアイコンが点灯します

＊ 続けて他のメニューも設定する場合は SET/DISP. ボタンを押さずに、◀、▶ ボタンを押して設定するメニューを選択します。

静止画に音声をつける

●撮影済みの静止画像に音声をつける（アフレコ）することができます。また、録音済みの音声を消去したり書換えることもできます。

1.「アフレコ」を選択し、SET/DISP.ボタンを押します。

2. 撮影済みの画像が再生されます。◀、▶ボタンを押して、音声を付けたい静止画像を選択します。

＊ 🎥 アイコンが表示されているムービー画像には録音できません。
＊ MENUボタンを押すと設定を無効にして1の画面に戻ります。

3. シャッターボタンを押すと録音を開始します。
カメラ本体前面のマイクをふさがないようご注意ください。

＊ 残り時間がなくなると自動的に録音が終了します。途中で止めたいときは、シャッターボタンを再度押してください。
＊ 録音中は、画像右上に経過時間が表示されます。

●録音済みの音声を消去する

1. 画像再生した後、音声を消去させたい画像を選択し、消去ボタンを押します。

＊ 音声録音されている画像にはアイコンが点灯します。

2. 選択した画像の音声のみを消去する場合は「音声」を、音声録音されている画像の音声全てを一度に消去する場合は「音声＆画像」を▲、▼ボタンで選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

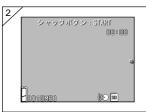
＊ 消去を実行しないときは「キャンセル」を選択し SET/DISP. ボタンを押します。

3. 「消去中です」表示が消灯すると消去が完了し、スルー画像に戻ります。

＊ 録音し直す場合は、上記1～2の操作で録音した音声を一度消去してから、p68の操作で改めて録音してください。
＊ プロテクトされている画像や、カードに残量がない場合は録音できません。また、カードの残り容量が少ない場合、録音できないことがあります。
＊ アフレコ機能を使用して音声録音すると、残り撮影可能枚数は少なくなります。
＊ 音声の再生方法は p91 をご覧ください

ボイスメモ機能を使う

●音声のみの録音ができます。
●カメラ本体前面のマイクをふさがないようにご注意ください。

1.「ボイスメモ」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

2. ボイスメモ画面が表示され、録音可能な状態になります。
シャッターボタンを押すと録音を開始します。

＊ シャッターボタンを押さずにMENUボタンを押すと録音を開始せずに１の画面に戻ります。
＊ 残り時間がなくなると自動的に録音が終了します。途中で止めたいときは、再度シャッターボタンを押してください。
＊ 録音中は、画面右上に経過時間が表示されます。
＊ 音声の再生方法はp91 をご覧ください。
＊ ボイスメモ機能を使用して音声録音すると、残り撮影可能枚数は少なくなります。

露出補正を行う

●意図的に撮影画像を明るくしたり暗くしたい場合など、露出の補正を行います。
●露出補正は± 2.0EV の範囲を 1/3EV ステップで調整できます。
●補正値は液晶モニターに表示されます。
●「マニュアル撮影（p74）」のモードメニューでも設定可能です。

1. 露出補正設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「露出補正±0.0」が表示されます。

2. ▲、▼ボタンで補正値を選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

＊薄暗い所での被写体では補正を行っても設定後の変化が分かりにくいことがあります。その場合、前後に何段階か補正値を変えて数枚撮影し、適切な画像を選択することをおすすめします。
＊フラッシュを使用した場合は補正効果が不充分になる場合があります。

ホワイトバランスを固定する

●画像の色調は光源の種類によって変化します。ほとんどの場合はオートで撮影できますが、撮影時の環境や照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影したい場合は設定を変更してください。
●設定したモードは液晶モニターにアイコンが表示されます（オートでは表示しません）。
●「マニュアル撮影（p74）」のモードメニューでも設定可能です。

1．ホワイトバランス設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「オートホワイトバランス」が表示されます。

2．▲、▼ボタンで希望のモードを選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

＊通常の撮影に戻すときは「オートホワイトバランス」に設定してください。

●設定できるモード

・AWB オート（初期設定）：カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。

・昼光　　：晴れた野外での撮影に適しています。

・曇天　　：曇天や日陰での撮影に適しています。

・蛍光灯　：蛍光灯下での撮影に適しています。

・白熱灯　：白熱電球下での撮影に適しています。

※ホワイトバランスについて

人間の目には、照明する光の種類が変っても、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラ等では、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランス調整を行って初めて、白い被写体は白に見えます。
この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。

マニュアル撮影モードメニューを使う

●「マニュアル撮影」モードで設定できるメニューについて説明します。
●各メニューで設定した内容は、特に記載のない限り電源のオン／オフに関わらず設定を変えるまで保持されます。

●設定できるメニュー

・ 撮影モード
 1)プログラム撮影：初期設定モードです。
  シャッター速度と絞りをカメラが自動的に設定します（p76）。
 2)絞り優先撮影　：絞りは手動で設定し、シャッター速度はカメラが自動的に設定します（p78）。
 3)マニュアル露出：シャッター速度と絞りを手動で設定します（p79）。
・ 連写＆ブラケット：連写機能（p57）の他にオートブラケット機能が選択できます（p81）。
・ 画像サイズ　（p58）
・ 優先メモリー　（p60）
・ セルフタイマー　（p61）
・ カラー　（p56）
・ 露出補正　（p71）
・ ホワイトバランス（p72）
・ ISO 感度　：撮影感度の設定ができます（p82）。
・ フォーカス固定　：フォーカス（ピント）を固定できます（p82）。
・ カスタム設定　：各種の画質設定が可能です（p83）。

＊「連写」「画像サイズ」「優先メモリー」「セルフタイマー」「カラー」「露出補正」「ホワイトバランス」についての説明は以降のページでは省略します。

1.「マニュアル撮影」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

2. MENU ボタンを押すと、設定可能なメニューのアイコンが表示されます。

3. p55 と同様に、◀、▶ ボタンで設定したいメニューを選択します。

4. ▲、▼ ボタンでメニューの中から希望のモードを選択します。

5. SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態（スルー画像）になります。
液晶モニターには選択したモードアイコンが点灯します。

＊ 続けて他のメニューも設定する場合は SET/DISP. ボタンを押さずに、◀、▶ ボタンを押して設定するメニューを選択します。

マニュアル撮影モードメニューを使う（つづき）

プログラムモードで撮影する

●初期設定モードです。
●被写体の明るさに応じて、シャッター速度と絞りをカメラが自動的に設定します。

1.「プログラム撮影」を選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「プログラム撮影」が表示されます。

2. SET/DISP.ボタンを押すと、撮影可能な状態になります。

＊液晶モニターには アイコンが点灯します。

※「オート撮影」と「プログラム撮影」の違い

＊自動的に設定されるシャッター速度と絞り値の組み合わせは同じです。
＊「プログラム撮影」では次の機能が使用できますが、「オート撮影」ではできません。

- AF（ピント）を固定して撮影ができます。
- AE（露出）を固定して撮影ができます。
- ホワイトバランスの切替えが行えます。
- 露出補正が行えます。
- シャッターボタンを半押しすると液晶モニター上に絞り値とシャッター速度が表示されます。

AF（ピント）を固定して撮影する

フォーカスロック（p41）しながら（シャッターボタンを半押しにしたまま）◀ボタンを押すと、液晶モニターにアイコンが表示され、AF（ピント）が固定されます。
撮影後もAFは固定されたままになり、AFを固定したまま繰り返し撮影することが可能です。

＊ ズームボタンまたは◀ボタンを押す、もしくは電源オフでAF固定は解除されます。

AE（露出）を固定して撮影する

フォーカスロック（p41）しながら（シャッターボタンを半押しにしたまま）▲ボタンを押すと、液晶モニターにアイコンが表示され、AE（露出）が固定されます。
撮影後もAEは固定されたままになり、AEを固定したまま繰り返し撮影することが可能です。

＊ ズームボタンを押す、もしくは電源オフでAE固定は解除されます。またはホワイトバランス切替えで解除されます。

AWB ホワイトバランスの切替えを行う

撮影時に▼ボタンを押すことでホワイトバランスを固定して撮影することができます。▼ボタンを押す毎にモードが切替わり、設定されたモードは液晶モニターに表示されます。表示されるアイコンとモードの関係はp73をご覧ください。

露出補正を行う

撮影時に▲ボタンを押すと液晶モニターに露出補正値が表示されます。◀、▶ボタンを押すことにより露出補正を行うことができます。露出補正はデフォルト値に対して±2.0EVを1/3EVステップで調整できます。

＊ ▲ボタンを押す毎に、◀、▶ボタンの機能は切替わります。
　再度▲ボタンを押すと◀、▶ボタンの機能は、「マクロモード（◀)、「フラッシュモード（▶)」に切替わります。
＊ ▼ボタンでは常にホワイトバランスの切替えが可能です。

絞り優先モードで撮影する

●絞り値を設定すると、シャッター速度が自動的に設定されるモードです。
●絞り値はズーム倍率によって変化しますが、倍率毎に２段階の切替えが可能です。

1.「絞り優先」を選択します。

2. SET/DISP. ボタンを押すと、液晶モニターには、絞り値が表示され、設定可能な状態になります。

▼ボタンで絞り値を設定し、撮影してください。

＊ また、◀、▶ボタンで露出補正を行うことができます。

＊ ▲ボタンを押す毎に、▼、◀、▶ボタンの機能は切替わります。
絞り値が白い表示のときは絞り値と露出補正の設定が可能な状態ですが、▲ボタンを押すと▼、◀、▶ボタンの機能は、「ホワイトバランス（▼）」、「マクロモード（◀）、「フラッシュモード（▶）」の設定が可能になります。
＊「プログラム撮影（p76）」と同様に、AF固定およびAE固定の撮影が可能です（p77）。

マニュアル露出モードで撮影する

●シャッター速度と絞り値を撮影状況や目的に合せて設定することができます。

●シャッター速度は15秒～1/1000秒の範囲で設定が可能です。また、絞り値はズーム倍率によって変化しますが、倍率毎に２段階の切替えが可能です。

1.「マニュアル撮影」を選択します。

2. SET/DISP. ボタンを押すと、液晶モニターにはシャッター速度と絞り値が表示され、設定可能な状態になります。

◀、▶ ボタンでシャッター速度を、▼ボタンで絞り値を設定し、撮影してください。

＊遅いシャッター速度に設定したときは手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

＊▲ボタンを押す毎に、▼、◀、▶ボタンの機能は切替わります。
シャッター速度と絞り値が白い表示のときはマニュアル露出の設定が可能な状態ですが、▲ボタンを押すと▼、◀、▶ボタンの機能は、「ホワイトバランス（▼）」、「マクロモード（◀）、「フラッシュモード（▶）」の設定が可能になります。

＊「プログラム撮影（p76）」と同様に、AF固定およびAE固定の撮影が可能です（p77）。

マニュアル露出モードで撮影する（つづき）

＊ マニュアル露出モード設定時は､液晶モニター上には絞り値とシャッター速度が常に表示されます。
また､シャッターボタンを半押しすると露出値（輝度との露出差）が表示されます（± 2.0EV の範囲を 1/3EV ステップで表示)。
周囲の輝度が変化した場合でも､シャッターボタンを半押しすることによってその都度露出値を確認することができます。

＊ マニュアル露出モードの場合、1/2 秒よりも遅いシャッター速度に設定すると、ノイズリダクション機能が働きますので処理時間が長くなります。

＊ マニュアル露出モードに設定されている場合、一部の機能が制限されます。
- ・ 他のメニューの「露出補正（p71、p74)」モードは設定できません。
- ・ ISO 感度の設定（p82）が「AUTO」の場合､“ ISO50 ” に固定されます。
- ・ フラッシュオート撮影モードは選択できません。
- ・ 赤目軽減モード（P114）時のフラッシュ発光時のシャッター速度は、設定されたシャッター速度になります。

＊ マニュアル露出モードでフラッシュ撮影した場合､状況によっては適正発光量とならないことがあります。その場合、フラッシュ光量モード（p84）をご使用ください。

オートブラケット機能を使う

●露出またはフォーカスの設定条件を自動的に3通りに変えて撮影します（3 コマ連写）。

1. ブラケット設定のメニューを選択します。

＊ 現在の設定が表示されます。
初期設定では「単写モード」が表示されます。

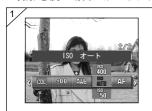
2. ▲、▼ボタンで「ブラケット露出」または「ブラケットフォーカス」を選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

●設定できるモード

- □ 単写モード（初期設定）：1 コマづつ撮影する通常モードです。
- 連写モード：p57 参照
- スーパー連写モード：p57 参照
- ブラケット露出：露出の設定条件を自動的に3通りに変えて撮影します。
- ブラケットフォーカス：フォーカスの設定条件を自動的に3通りに変えて撮影します。

＊ オートブラケット機能で撮影した画像は再生モードで確認して、適切な画像を選択してください。

撮影感度(ISO)を切替える

●撮影感度の切替えができます。

1．ISO 設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「ISO オート」が表示されます。

2．▲､▼ボタンで希望の感度を選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

・AUTO：通常の感度はISO100相当ですが、被写体の条件に合わせて自動的に 感度が切替わります。一般撮影に適しています。

・50/100/200/400：高い感度は、動きの早い被写体や暗い場所での撮影などに適しています。但し、感度を高く設定するほど画像にノイズが増えます。低い感度は、明るい場所での撮影や遅めのシャッター速度を使用したいときなどに適しています。

フォーカスを固定して撮影する

●フォーカス（ピント）を固定して撮影したいときにお使いください。
設定できる距離は、無限、2.5m、1.2m、0.8m です。

1．フォーカス設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「オートフォーカス」が表示されます。

2．▲､▼ボタンで希望の距離を選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

カスタム機能を設定する

●カスタム機能を設定すると、p84～p88のメニュー選択と設定が可能になります。
但し、各メニューの初期設定は「オフ」になっていますので、最初にセットアップメニューの中の「カスタム設定」モードの「オフ」を解除してください(p120)。

●「オフ」を解除すると各メニューの設定画面が表示されるようになり、フラッシュの発光量や画像のコントラストなど、お好みに合わせた画質に設定することができます。

1. カスタム設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「カスタム設定オフ」が表示されます。

2. ▲、▼ボタンで「カスタム設定1」を選択します。
または「2」が選択できます。

＊異なる2通りの画質設定が可能です。

3. 選択後、◀、▶ボタンでp84～p88の各メニューを選択し、設定を行ってください。

＊通常の設定（初期設定）で撮影したいときは「カスタム設定オフ」を選択して SET/DISP. ボタンを押します。
設定した画質で撮影するときは「1」または「2」を選択してください。

フラッシュの発光量を調整する

●フラッシュの発光量を増減することができます。

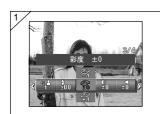
1. フラッシュ設定のメニューを選択します。

＊ 現在の設定が表示されます。
初期設定では「フラッシュ±0.0」が表示されます。

2．▲、▼ボタンで設定値を選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

＊ 近い被写体を撮影するなど光量を減らしたいときは－側に、被写体の背景が遠いなど光量を多くしたいときは＋側に設定します。
＊ 光量は、撮影条件（焦点距離、絞り値、撮影距離、感度等）により、ハードウェアで制限されることがあります。

彩度を調整する

●画像の色の鮮やかさを調整できます。

1．彩度設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「彩度±0」が表示されます。

2．▲、▼ボタンで設定値を選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

＊＋側に設定すると鮮やかさが強くなり、－側にすると鮮やかさは低くなります。

コントラストを調整する

●画像のコントラスト（明暗差）を調整できます。

1．コントラスト設定のメニューを選択します。

＊現在の設定が表示されます。
初期設定では「コントラスト±0」が表示されます。

2．▲、▼ボタンで設定値を選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

＊＋側に設定すると明暗差が大きくメリハリのある画像になり、－側にすると明暗差は低く比較的柔らかい感じの画像になります。

シャープネスを調整する

●画像の鮮鋭度（輪郭の度合い）を調整できます。

1. シャープネス設定のメニューを選択します。

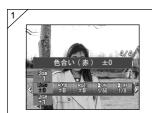
＊ 現在の設定が表示されます。
初期設定では「シャープネス±0」が表示されます。

2. ▲、▼ボタンで設定値を選択します。
SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

＊ ＋側に設定すると画像の輪郭がシャープになり、ー側にすると画像の輪郭がソフトになります。

色合いを調整する

●画像の色合いを調整（特定の色を強調）できます。

1

1. 色合い設定のメニュー（赤、緑、青）を選択します。

＊ 現在の設定が表示されます。
初期設定では各色ともに「±0」が表示されます。

2. ◀、▶ボタンで設定する色を、▲、▼ボタンで設定値を選択します。SET/DISP. ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

＊ 色合い（赤）（緑）（青）は相対値として設定されます。0，0，0 も－2，－2，－2 も同じ値とされます。例えば、最も赤を強調したい場合は＋2（赤），0（緑），0（青）ではなく、＋2（赤），－2（緑），－2（青）と設定します。

スローシャッターの速度を変更する

●フラッシュモードに応じてスローシャッターの速度を変更することができます。
●暗い場所での撮影はシャッター速度が遅くなりますから、手ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

1

1. フラッシュモードをAUTOまたは強制発光（⚡）にしたときのスローシャッター速度を変更したいときは「スローシャッタ⚡」を選択します。

＊ 現在の設定が表示されます。
表示についての詳細は下記※印の説明をご参照ください。

フラッシュモードをオフ（⚡）にしたときのスローシャッター速度を変更したいときは「スローシャッタ⚡」を選択します。

＊ 現在の設定が表示されます。
初期設定では「1/8」秒が表示されます。

2. ▲、▼ボタンでシャッター速度を選択します。
SET/DISP.ボタンを押すと設定が完了し、撮影可能な状態になります。

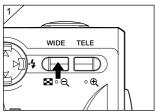
※ スローシャッター速度の表示について

「スローシャッタ⚡」の速度は、設定画面では広角（W）側の表示のみとなります。望遠（T）側は下表の通り対応していますのでご参照ください。
なお、初期設定では、広角（W）側の場合「1/60」秒が表示されます。
また、「スローシャッタ⚡」を選択の場合には、焦点距離毎にシャッター速度は変化しません。

広角（W）側	1/8	1/15	1/30	1/60	1/125
望遠（T）側	1/12.5	1/25	1/50	1/100	1/200

複数の画像を一度に見る（インデックス再生）

●液晶モニターに、同時に９コマの画像を表示できます。表示したい画像に素早くアクセスすることができます。また、不要な画像を消去することもできます。

1. ▶ 再生ボタンを押して画像を再生させた後、ズームボタンのW側を押します。

2. ９コマの画像が同時に表示されます。メニューに入ったときの画像が赤枠で囲まれています。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、表示（または消去）したい画像を囲んで選択してください。

＊ 先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと９枚とも次の画像に入れ替ります。

3. ズームボタンのＴ側またはSET/DISP.ボタンを押すと選択した画像が標準の大きさで表示されます。

※ 選択した画像を消去したい場合は 🗑 消去ボタンを押します。ボタンを押した後の操作はp51-2～p53と同じです。

＊ メディア内の画像を全コマ消去する場合は、どの画像が表示されていても構いません。

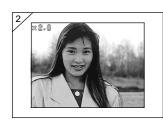
画像を拡大して再生する（デジタルズーム）

●再生画像を拡大表示できます。

1．画像を再生させた後、◀、▶ボタンで見たい画像を選択します。ズームボタンのＴ側を押すと画像がズームインされ、Ｔボタンを押す毎にズーム倍率が上がります。

＊液晶モニターには、ズーム倍率が表示されます。

＊ズームアウトするには、ズームボタンのW側を押していきます。また、シャッターボタンを半押しすると通常の画像サイズに戻ります。

2．◀、▶、▲、▼ボタンを押すと画像がスクロールしますので、見たい部分を表示させてください。

クイックビュー機能を使う

●予め「クイックビュー」（p111）を設定しておくと、撮影した画像をすぐに液晶モニターで再生確認することができます。

・液晶モニターを使って撮影した場合：

撮影が終わると、撮影した画像が液晶モニターに再生されます。
約３秒後にスルー画像に戻ります。

・ファインダーを使って撮影した場合：

画像再生後、自動的に液晶モニターは消灯します。

アフレコ画像の音声を再生する

●アフレコ（p68）した画像の音声を再生します。

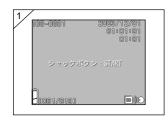
1．画像を再生させた後、◀、▶ボタンでアフレコ画像を選択します。

＊アフレコ画像を再生すると画面表示は１のようになります。画面右上には録音時間が表示されます。

2．シャッターボタンを押すと音声が再生されます。再生が終わると１の画面に戻ります。

＊画面右上には再生（経過）時間が表示されます。

ボイスメモを再生する

●ボイスメモ録音（p70）した内容を再生します。

1．画像を再生させた後、◀、▶ボタンでボイスメモ画像を選択します。

＊画面右上には録音時間が表示されます。

2．シャッターボタンを押すと音声が再生されます。再生が終わると１の画面に戻ります。

＊画面右上には再生（経過）時間が表示されます。

●アフレコ画像およびボイスメモの音声再生について

＊カメラ上面のスピーカー（p16）をふさがないでください。
＊再生を途中で止めたい場合は、シャッターボタンを再度押してください。

再生メニューを使う

●再生メニューを使うことにより、撮影した画像のコピーやプロテクト、プリント指定などの設定ができます。
●カメラの電源はオン/オフどちらの状態であっても構いません。

●設定できるメニュー

・コピー＆移動　：他のメディアに画像をコピーしたり、移動させたりできます（p94）。
・プリント指定(DPOF)：プリントする画像や枚数を指定します（p97）。
・プロテクト　　：画像を消去できないように設定します（p101）。
・リサイズ　　　：画像サイズを小さくさせることができます（p104）。
・スライドショー：画像を連続して自動再生します（p105）。

1. ▶ 再生ボタンを押した後、MENUボタンを押すと、再生メニュー画面が表示されます。

2. ◀、▶ボタンで設定したいメニューを選択します。

3．▲､▼ボタンでメニューの中のモードを選択し、SET/DISP.で各モードの設定を行います。

＊選択したモードアイコンは反転表示されます。

4．全ての設定が完了したら、▼ボタンで「OK」を選択し、SET/DISP.ボタンを押します。

＊設定が完了するとメニュー画面に戻ります。メニュー画面のときにMENUボタンを押すと再生画像に戻ります。
＊各メニューの詳細設定は以降のページをご覧ください。

画像をコピーまたは移動させる

●撮影した静止画やムービー画像を別のメディアへコピーしたり、移動させたりすることができます。
●プロテクトされている画像は、プロテクトを解除しないと移動はできません。

1．「コピー＆移動」を選択します。

2．▲､▼ボタンでモードを選択します。

メディアモードを選択後、SET/DISP. ボタンでコピーまたは移動先のメディアを選択します。

＊選択したメディアに画像やカードが入っていない場合は選択できません。

3．単位モードを選択後、SET/DISP.ボタンで「選択コマ」(1コマまたは複数コマを選択の場合)、または「全コマ選択」を選択します。

4．コピー／移動モードを選択後、SET/DISP.ボタンで「コピー」または「移動」を選択します。

5．全ての選択が完了したら、▼ボタンで「OK」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊ MENU ボタンを押すか、「OK」の 1 つ上のアイコン位置で SET/DISP.ボタンを押すと設定を無効にして 1 の画面に戻ります。

＊ 単位モードで「選択コマ」を選択した場合は6へ、「全コマ選択」を選択した場合は p96-8 へ進んでください。

6．8 コマの画像が表示されます。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、コピーまたは移動する画像を赤枠で囲んで選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊ 先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと 8 枚とも次の画像に入れ替わります。

7. 選択した画像は黄枠で囲まれます。
他の画像も選択する場合は再度選択操作を行います（6の操作へ戻る）。

選択を終了させる場合は、◀、▶、▲、▼ボタンで「終了」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

8. 確認画面が表示されます。実行する場合は ◀、▶ ボタンで「はい」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊「いいえ」を選択しSET/DISP.ボタンを押すと、設定を無効にして1の画面に戻ります。

9. コピーまたは移動が開始され、「コピー中です」または「移動中です」画面が表示されます。
コピーまたは移動が完了すると1の画面に戻ります。

プリントする画像を選ぶ（DPOF）／解除する

●従来の写真と同様にデジタルカメラの画像もプリント取扱店でプリントできます。詳しくはプリント取扱店にご相談ください。
●DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Formatの略称で、デジタルカメラで撮影した画像をDPOF対応のデジタルプリンタやラボプリントサービスでプリントするための情報をカードなどに記録するときの形式です。
●撮影した静止画像の中からプリントしたいコマの指定ができます。また、設定の解除も可能です。なお、ムービー画像はプリントできません。
●設定できるプリント枚数は１画像につき最大 999 枚です。

1．「プリント指定(DPOF)」を選択します。

2．▲､▼ボタンでモードを選択します。

メディアモードを選択後、SET/DISP.ボタンで、プリント（または設定解除）したい画像が入っているメディアを選択します。

＊選択したメディアに画像やカードが入っていない場合は選択できません。

3．単位モードを選択後、SET/DISP.ボタンで、1コマまたは複数コマをプリント（または設定解除）する 場合は「選択コマ」を、全コマをプリントする場合は「全コマ選択」を選択します。また、プリント設定を全て解除させる場合は「全コマ解除」を選択します。

4．デートモードを選択後、SET/DISP.ボタンで「デートオン」または「デートオフ」を選択します。

＊「デートオン」に設定すると、撮影日時がプリントされます。

5．全ての選択が完了したら、▼ボタンで「OK」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊ MENU ボタンを押すか、「OK」の 1 つ上のアイコン位置でSET/DISP.ボタンを押すと設定を無効にして 1 の画面に戻ります。
＊ 単位モードで「選択コマ」を選択した場合は p99-6へ、「全コマ選択」を選択した場合は p100-9 へ進んでください。また、「全コマ解除」を選択した場合は p100-10 へ進んでください。

6. 「選択コマ設定」画面が表示されます。
　▲、▼ボタンで「前回設定ファイル読込」または「全コマ初期値〈 0 〉」を選択しSET/DISP.ボタンを押します。

＊ DPOF設定をしないときは「キャンセル」を選択しSET/DISP.ボタンを押します。

＊「前回設定ファイル読込」を選択すると、前回プリント指定したファイルを再度読み込むことができます。前回設定したものがファイル内に無い場合はグレー表示となり選択はできません。その場合「全コマ初期値〈 0 〉」を選択してください。

＊「全コマ初期値〈 0 〉」を選択し◀、▶ボタンを押すと、予め全コマの初期枚数を指定することできます。

7. 8コマの画像が表示されます。
　◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動します。画像を赤枠で囲むとプリント枚数の変更やプリント指定（または設定解除）が行えます。

・ プリント指定されている画像は黄枠で囲まれ、画像左上にはプリント指定枚数が表示されます。画像を赤枠で囲んでズームボタン（T,W）を押すとプリント枚数の増減が行えます。
・ プリント指定されていない画像を赤枠で囲んでSET/DISP.ボタンを押すとプリント枚数「1枚」が設定されます。ズームボタン（T,W）でプリント枚数の増減が行えます。

＊ 先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと8枚とも次の画像に入れ替わります。

8. 選択を終了させる場合は、◀、▶、▲、▼ボタンで「終了」を選択し、SET/DISP.ボタンを押します（p100-10へ進む）。

9. 「全コマ選択」を選択の場合：
▲､▼ボタンまたはズームボタン（T，W）を押してプリント枚数を指定した後、SET/DISP. ボタンを押します。

10. 確認画面が表示されます。

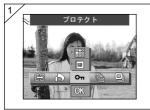
※「全コマ選択」「選択コマ」を選択の場合：
◀､▶ボタンで「はい」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

※「全コマ解除」を選択の場合：
◀､▶ボタンで「はい」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊「いいえ」を選択してSET/DISP.ボタンを押すと設定を無効にして１の画面に戻ります。

11.「プリント指定中です」または「解除中です」の画面が表示されます。設定（または解除）が完了すると１の画面に戻ります。

大事な画像をプロテクトする／解除する

●撮影した大事な静止画や動画を誤って消去しないように、画像をプロテクトすることができます。また、解除も可能です。
●カードをフォーマット(p108) すると、プロテクトされた画像でも消去されてしまいます。

1.「プロテクト」を選択します。

2. ▲､▼ボタンでモードを選択します。

メディアモードを選択後、SET/DISP.ボタンでプロテクト（または解除）したい画像が入っているメディアを選択します。

＊選択したメディアに画像やカードが入っていない場合は選択できません。

3. 単位モードを選択後、SET/DISP.ボタンで、1コマまたは複数コマをプロテクト（または解除）する場合は「選択コマ」を、全コマをプロテクトする場合は「全コマ選択」を選択します。
また、プロテクト設定を全て解除させる場合は「全コマ解除」を選択します。

4．全ての選択が完了したら、▼ボタンで「OK」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊ MENU ボタンを押すか、「OK」の 1 つ上のアイコン位置で SET/DISP. ボタンを押すと設定を無効にして 1 の画面に戻ります。

＊ 単位モードで「選択コマ」を選択した場合は 5 へ、「全コマ選択」または「全コマ解除」を選択した場合は p103-7 へ進んでください。

5．8 コマの画像が表示されます。◀、▶、▲、▼ボタンを押すと赤枠が移動しますので、プロテクト（または解除）する画像を赤枠で囲んで選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊ 先頭コマで◀ボタンを、最終コマで▶ボタンを押すと 8 枚とも次の画像に入れ替わります。

6．選択した画像は黄枠で囲まれます。
他の画像も選択する場合は再度選択操作を行います（5の操作へ戻る）。
選択を終了させる場合は、◀、▶、▲、▼ボタンで「終了」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

7. 確認画面が表示されます。
◀、▶ボタンで「はい」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊「いいえ」を選択してSET/DISP.ボタンを押すと設定を無効にして１の画面に戻ります。

8. 「実行中です」画面が表示されます。設定（または解除）が完了すると１の画面に戻ります。

画像サイズを小さくする

●撮影した画像サイズを小さくさせることができます。リサイズさせると、データ容量が小さくなったファイルが新しく作成されます。
●Eメールに画像を添付するなど小さな画像が必要なときに便利です。
●ムービー画像はリサイズできません。

1
1．再生画像でリサイズさせたい画像を選択した後、「リサイズ」メニューを選択します。

2
2．▲ボタンでサイズモードを選択し、SET/DISP. ボタンで画像サイズを選択します。

＊ VGAは640×480pixelで、QVGAは320×240pixel で記録されます。

3
3．選択が完了したら、▼ボタンで「OK」を選択し、SET/DISP.ボタンを押します。

＊ MENU ボタンを押すか、「OK」の１つ上のアイコン位置でSET/DISP.ボタンを押すと設定を無効にして１の画面に戻ります。

4. ◀、▶ボタンで「はい」を選択しSET/DISP.ボタンを押すと、リサイズされた画像が新しく記録されます。

＊リサイズを実行しない場合は、「いいえ」を選択し、SET/DISP.ボタンを押します。
＊容量不足で保存できない場合は「メモリがいっぱいです」と表示されます。

スライドショー再生を行う

●撮影した画像を１コマ目から一定時間で順次再生していきます。

1. 「スライドショー」を選択します。

2. ▼ボタンで「OK」を選択し、SET/DISP.ボタンを押します。

3. １コマ目から約２秒間隔で順次画像が再生されます。
全ての再生が終了すると、最終コマで表示が終わります。

＊途中で止めたいときは、SET/DISP.ボタンを押します。終了した時点の画像が表示されます。

セットアップメニューを使う

●セットアップメニューの各項目を変更することにより、自分に合った使いやすい設定でカメラを使用することができます。
●各設定は、メイン電源のオン／オフに関わらず設定を変えるまで保持されます。
●撮影モード（スルー画像）または再生画像からセットアップメニューが選択できます。

●設定できるメニュー

・フォーマット：カードを初期状態に戻します（p108）。
・モニター　　：液晶モニターに関する設定が可能です（p110）。
・撮影設定　　：撮影モードに関する設定が可能です（p113）。
・サウンド　　：各種サウンドのオン／オフ設定が可能です（p117）。
・基本設定　　：日時設定やカスタム設定などが可能です（p118）。

1. スルー画像の状態でMODEボタンを押します。
   ▲、▼ボタンで「セットアップ」を選択します。

2. SET/DISP. ボタンを押すと、設定可能なメニュー項目のアイコンが表示されます。

＊ または、再生画像からMODEボタンを押すと「セットアップ」メニューが表示されます。

3. ◀、▶ボタンで設定したいメニューを選択します。

4. ▲、▼ボタンでメニューの中のモードを選択し、SET/DISP. ボタンで各モードの設定を行います。

5. 設定が完了したら、MENU ボタンを押します。
設定が完了し、セットアップメニュー画面（1の画面）に戻ります。再生画像からセットアップメニューに入ったときは、再生画像に戻ります。

＊ セットアップメニュー画面（１の画面）のときにMENUボタンを押すと、撮影可能な状態（スルー画像）に戻ります。
＊ 各メニューの詳細設定は以降のページをご覧ください。

カードをフォーマットする

●カードをフォーマットすると購入時の状態に戻ります。
●フォーマットすると、プロテクト（p101）された画像があっても全て消去されてしまいます。ご注意ください。
●カードのフォーマットは必ずカメラ本体で行ってください。パソコンでフォーマットした場合、カードが正常に使用できなくなることがあります。

1.「フォーマット」を選択します。

▲、▼ボタンで、フォーマットするメディアの種類を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

2. 確認画面が表示されます。実行する場合は ◀、▶ ボタンを押して「はい」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊実行しない場合は「いいえ」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

3. フォーマットが開始され「カードフォーマット中です」画面が表示されます。フォーマットが完了するとセットアップメニュー画面に戻ります。

⦸ **フォーマット中は、電池／カード蓋を絶対に開けないでください。カードが破損する恐れがあります。**

液晶モニターの設定を行う

●液晶モニターに関する各種設定が可能です。

1．「モニター」を選択します。

2．▲、▼ボタンで設定するモードを選択します。
SET/DISP.ボタンで各モードのオン／オフ設定を切替えます。

3．設定が完了したらMENUボタンを押します。
設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

●設定できるモード

・クイックビュー：撮影後すぐに画像確認ができるように設定できます。

・情報表示　　　：画像情報の表示／非表示の切替えができます。

・液晶　　　　　：液晶モニターの点灯方法を変更できます。

・青色ＬＥＤ　　：カメラの起動時に点灯するLEDの点灯／非点灯の切替えができます。

・モニター色調整：液晶モニターの明るさと色合いを調整できます（p112）。

クイックビューを設定する

●撮影後すぐに画像を液晶モニターに表示させて、撮った画像をその場で確認したい場合はこのモードを「クイックビューオン」に設定します。
●初期設定は「クイックビューオフ」です。
●この機能についての詳細は p90 をご覧ください。

画像情報を非表示にする

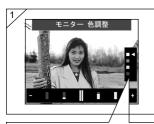
●「情報表示オフ」に設定することで、撮影時または再生時に表示される画像表示（p38、p48）を非表示にさせることができます。
●初期設定は「情報表示オン」（表示する）です。

液晶モニターの点灯方法を変更する

●電源をオンにすると液晶モニターが常に点灯しますが、「液晶オフ」に設定することで電源をオンにしても液晶モニターが点灯しなくなります。
●初期設定は「液晶オン」です。
●「液晶オフ」設定時は、電源オン後に SET/DISP. ボタンを押すことで液晶モニターが点灯します。

青色 LED を点灯させないようにする

●カメラの起動時に青色LED（p16参照）が点灯しますが、「青色LEDオフ」に設定すると点灯しなくなります。
●初期設定は「青色 LED オン」です。

液晶モニターの明るさと色合いを調整する

1. 「モニター色調整」を選択し、SET/DISP.ボタンを押すとモニター調整画面が表示されます。

2. ▲、▼ボタンを押すと選択モード内のカーソル（◁）が動きますので、調整するモード（明るさまたは色合い）を選択します。
   ◀、▶ボタンを押すと画面下の調整バーのカーソルが動きますので、お好みの明るさまたは色合いに調整してください。
   調整後、SET/DISP.ボタンを押すと設定が完了します。

＊ ▶ボタンを押すとカーソルが＋側に動き、画面が明るくなります（色合いの場合は濃くなります）。◀ボタンを押すと－側に動き、画面は暗くなります（色合いの場合は薄くなります）。
＊ 色合いは相対値として設定されます。
例えば、最も赤くしたい場合は、赤を一番右側に設定するだけでなく、緑と青を一番左側に設定することで赤がより強調されます。

撮影モードの設定を行う

●撮影モードに関する各種設定が可能です。

1．「撮影設定」を選択します。

2．▲、▼ボタンで設定するモードを選択します。
SET/DISP. ボタンで各モードのオン／オフ設定を切替えます。

3．設定が完了したらMENUボタンを押します。
設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

●設定できるモード

・赤目軽減　　　　：赤目軽減撮影が可能になります（p114）。
・デジタルズーム　：デジタルズーム撮影が可能になります（p114）。
・ナンバーリセット：ファイル番号をリセットすることができます（p115）。
・測光切替　　　　：測光(AE)方式を変更させることができます（p115）。
・測距切替　　　　：測距(AF)方式を変更させることができます（p116）。

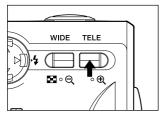
セットアップメニューを使う（つづき）

赤目軽減撮影を行う

●「赤目軽減オン」に設定すると、フラッシュ撮影したときに目が赤く輝いて写る“ 赤目現象 ”を軽減させることができます（初期設定はオフ）。
●シャッターをきると、フラッシュが予備発光した後に本発光を行い撮影が終わります。

＊ フラッシュが本発光するまでは、カメラを動かしたり撮られる人が動かないようにご注意ください。
＊ 予備発光や本発光を正面から見ていない場合や、被写体までの距離が遠い場合は、赤目軽減の効果があらわれにくいことがあります。

デジタルズーム機能を使う

●「デジタルズームオン」に設定すると、光学ズームの最大倍率から更に2倍に拡大して撮影することができます（初期設定はオフ）。
●デジタルズームを使っての撮影は、液晶モニターをご使用ください。電子的な制御で拡大しているため、ファインダーを使っての撮影はできません。
●ムービー撮影ではデジタルズーム機能は使えません。

撮影の際は、ズームボタンのＴ側を止まるまでいっぱいに光学ズームさせた後、一旦ボタンから指を離し、再度Ｔボタンを押すとデジタルズームになります。

＊ 液晶モニターにはズーム倍率（× 2）が表示されます。
＊ 元に戻すにはW側を押してください。

ファイル番号をリセットする

●ファイル番号の設定方法を変更できます。

※№リセットオフ（初期設定）

下記のような連続したファイル番号を付番します（新しいカードを入れても続きのファイル番号になります）。

XXXXX1.jpg、 XXXXX2.jpg、 XXXXX3.jpg ･･･

※№リセットオン

新しいカードを入れるたびにXXXXX１.jpgから付番します。画像の入っているカードを入れたときは、既に存在するファイル番号の続きから付番します。

測光(AE)方式を変更する

●初期設定では「中央重点測光」になっていますが、「スポット測光」に変更することができます。
●スポット測光では、被写体の狙い部分に確実に露出を合わせることができます。

※中央重点測光（初期設定）

主に撮影画面全体の中央部を重点的に測光して露出を決定します。特に画面中央部の被写体の明るさに合わせて撮影したい場合に適しています。

※スポット測光

撮影画面全体の中心部のみを測光して露出を決定します。逆光や被写体と背景とのコントラストの差が大きいなど、撮影画面の一部分のみの明るさに合わせて撮影したい場合に適しています。

測距(AF)方式を変更する

●測距方式を変更させることができます。

※外部 AF オン（初期設定）

通常の設定です。
外部AFとCCDによる像面AFとを併用しピント合わせをします。カメラ側で撮影シーンに適したAFを行います。

※外部 AF オフ

外部AFによるピント合わせをせず、CCDによる像面AFのみでピント合わせをします。より高精度のピント合わせが必要の場合に選択してください。

＊ この選択はすべての撮影に有効となります。
＊ オフを選択の場合、シーンセレクト撮影時などで若干ピントを合わせる時間が長くなることがあります。

サウンド設定を変更する

●警告音、効果音、シャッター音を鳴らしたり止めたりすることができます。
●初期設定はすべて「オン」（鳴る設定）になっています。

1.「サウンド」を選択します。

2. ▲、▼ボタンで設定するモードを選択します。
SET/DISP. ボタンで各モードのオン／オフ設定を切替えます。

3. 設定が完了したらMENUボタンを押します。
設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

セットアップメニューを使う（つづき）

各種の基本設定を行う

●日時設定やカスタム設定などカメラの基本的な設定ができます。

1.「基本設定」を選択します。

2. ▲、▼ボタンで設定するモードを選択します。
   SET/DISP. ボタンで各モードのオン / オフ設定を切替えます。

3. 設定が完了したらMENUボタンを押します。
   設定が完了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

●設定できるモード

・日時設定　　：日時調整ができます（p119）。
・言語設定　　：言語設定を変更できます（p119）。
・オートパワーオフ設定：オートパワーオフの時間設定を変更できます（p119）。
・カスタム設定：撮影モードをカスタム設定できます（p120）。
・初期設定　　：各種設定を初期状態に戻すことができます（p120）。

日時を調整する

●電池を抜いた状態で約24時間以上経つと、設定した日時は解除されます。この場合、再度設定を行ってください。

「日時設定」を選択し、SET/DISP.ボタンを押すと、日時設定画面が表示されます。

設定方法は、p29-3〜p30-5をご覧ください。

言語を変更する

●液晶モニターに表示される言語を変更することができます。

「言語設定」を選択し、SET/DISP.ボタンを押すと、言語設定画面が表示されます。

設定方法は、p29-1〜2をご覧ください。

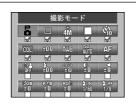
オートパワーオフの時間を変更する

●オートパワーオフ機能（p37）が作動する時間を3分（初期設定）から変更することができます。
●「オートパワーオフ」を選択し、SET/DISP.ボタンで「10分」または「オフ」を選択してください。

＊「オフ」を選択した場合はオートパワーオフ機能が働きませんので、電池の消耗にご注意ください。撮影や再生が終わったら電池の消耗を防ぐために、レンズカバーを閉じたり液晶モニターを消灯させるなど電源をオフにしてください。

セットアップメニューを使う（つづき）

カスタム設定を行う

●「マニュアル撮影モードメニュー(p74)」の各モードの設定を個別に無効にさせることができます。
●また、「カスタム設定(p83)」を有効にさせることができます。
●設定を「オフ」にした場合、初期設定モードのみが有効となり、設定した各モードの機能は無効となります。

「カスタム」を選択し、SET/DISP.ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
設定が「オン」になっているモードにはチェックマーク（✓）が付いています。
◀、▶ボタンでモードを選択しSET/DISP.ボタンでオン／オフを設定します。

「カスタム設定（p83）」を有効にさせたい場合は「カスタム設定」を選択して SET/DISP. ボタンを押します。

＊ モード毎に設定を無効にさせることもできます。

初期設定に戻す

●各撮影モードメニューおよびセットアップメニューで行った様々な設定を一度に初期状態に戻すことができます。

「初期設定」を選択し、SET/DISP.ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
◀、▶ボタンで「はい」を選択し、SET/DISP. ボタンを押します。

＊「いいえ」を選択すると設定を無効にしてセットアップメニュー画面に戻ります。

●カメラで撮影した画像は、付属のＵＳＢケーブルを使用して、パソコンに転送することができます。

動作環境

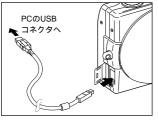
1．Windows

OS　：Windows 98、Windows 98SE、Windows2000、Windows Me、Windows XP がインストール済み
メモリ　：16MB以上の使用可能なRAM（32MB以上を推奨）
ディスプレイ　：32000色以上、解像度640×480pixel以上の表示
その他　：CD-ROM ドライブ搭載、USB ポート標準装備

2．Macintosh

OS　：Mac OS 9.0／9.1／9.2／Mac OS X（バージョン 10.0.4-10.2.2）
CPU　：PowerPC 以上搭載
メモリ　：16MB以上の使用可能なRAM（32MB以上を推奨）
ディスプレイ　：32000色以上、解像度640×480pixel以上の表示
その他　：CD-ROM ドライブ搭載、USB ポート標準装備

USB ケーブルと接続する

●カメラの電源はオフにします。
●カメラへUSBケーブルを接続したり外したりする際に、パソコンの電源を切る必要はありません。

1．パソコンの電源を入れ、Windows あるいは Mac OS を起動します。

2．Windows または Mac OS の通常画面になったら、カメラの USB 端子蓋を開け、USB ケーブルでカメラとパソコンを接続します。

※ USB ケーブルは、必ず付属のものをご使用ください。
※カメラをパソコンに接続しているときは、カメラの操作はできません。
※パソコンとの接続中は、USB ケーブルや AC アダプターを外したり、電池／カード蓋を開けたりしないでください。
※ USB ケーブルの接続を外すときも、カメラの電源はオフにしてください。また、ケーブルを外した後は USB 端子蓋を閉めてください。
※パソコンとの通信時には AC アダプター（別売）のご使用をおすすめします。AC アダプターの接続／取り外しは、カメラの電源がオフで、パソコンとカメラが接続されていない状態で行なってください。

USBドライバーソフトをインストールする

●付属のDiMAGE Viewer CD-ROMからインストールします。

●Windows 98およびWindows 98SEをご使用の場合のみインストールしてください。他のOSをご使用の場合は、インストールの必要はありません。

●カメラの電源はオフにします。

●電池の消耗を防ぐため、ACアダプターAC-9（別売）のご使用をおすすめします。

1） パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

2） USBケーブルでカメラとパソコンを接続後（p122）、カメラの電源をオンにします。

3）「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。

4） 付属のDiMAGE Viewer CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

5）「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をクリックし、「次へ」をクリックします。

6）「検索場所の指定」をクリックします。
「D:\」を入力し、「次へ」をクリックします。

＊ここでは、CD-ROM ドライブを D ドライブとして説明します。
＊インストールに必要な INF ファイルは「D:\」にあります。
＊別の検索場所を指定する場合は、「参照」をクリックしてください。

7）「次へ」をクリックします。

8）「完了」をクリックします。
これで USB デバイスドライバーのインストールは終了です。

画像をダウンロード（転送）する

●電池の消耗を防ぐため、ＡＣアダプターAC-9（別売）のご使用をおすすめします。
● Windows 98 および Windows 98SE をご使用の場合は、最初に「USB デバイスドライバーソフト」（付属の DiMAGE Viewer CD-ROM）をインストールしてください（p123～p124）。

1．パソコンの電源を入れ、Windows あるいは Mac OS を起動します。USB ケーブルでカメラとパソコンを接続（p122）します。

2．Windows の場合、「マイコンピュータ」を開き、新しく作られた「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックします。
Mac の場合、デスクトップ上に「名称未設定」アイコンが表示されます。

3．「DCIM」フォルダをダブルクリックします。

4．「100KM001」をダブルクリックすると、画像ファイルのアイコンが表示されます。
＊「100KM001」の最初の３ケタの数字は、カード内に存在するディレクトリにより異なります。

5．ファイルをダブルクリックすると、画像が表示されます。保存する場合は、任意の場所にコピーしてください。

注意！

※画像データが記録されたカードがカメラに入っていない場合はパソコンと接続できません。

※カメラ内に２枚のカードが挿入されている場合、優先メモリー（p27、p60）が表示されます。

※必要に応じて、画像ファイルをハードディスクなど他のメディアにコピーしたり、消去することができます。ご使用の OS の使用説明書をご参照ください。なお、この操作により生じた損害や障害等についての保証・責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

※大切なデータは必ずバックアップを取ってください。

※カメラで設定したプロテクト設定は、ファイルの読み取り専用属性をセットしたものです。パソコンでこの属性を変更しないでください。パソコンで変更した場合、カメラで設定したプロテクト設定は無効となってしまいます。

※カードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名をパソコンで変更したり、カメラによる画像データ以外のファイルをパソコンで書き込んだりしないでください。そのカードをカメラに入れても、パソコンで変更したり新しく入れたりした画像は、カメラで再生できません。また、カメラの機能にも支障をきたすことがあります。

※カードをパソコンでフォーマットしないでください。データが破損する場合があります。

QuickTime のインストールと使い方(Windows のみ)

●動画の再生にはQuickTime等の動画再生ソフトが必要です。お使いの Windows パソコンにインストールされていない場合は、付属のDiMAGE Viewer CD-ROM からインストールしてください。
● Macintosh の場合、通常 QuickTime はインストール済みですので、そのままで動画再生が可能です。

● QuickTime 6 動作環境

・ Pentium プロセッサを搭載した PC 互換コンピュータ
・ 128MB 以上のメモリ(RAM)
・ Windows 98/NT/Me/2000/XP オペレーティングシステム

●インストール方法

1） DiMAGE Viewer CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
・ 左の画面が現れます（ただし、この画面はご購入のデジタルカメラの機種によって若干異なります）。

2） [QuickTimeインストーラーの起動]をクリックします。

3） 画面の指示に従い、インストール作業を行います。

●操作方法

QuickTime Player

1） QuickTime を起動させます。
- QuickTime Player のアイコンをダブルクリックするか、画面左下の[スタート]から[プログラム(P)] → [QuickTime] → [QuickTime Player]を選択します。

2） [ファイル(F)]から[新規 Player でムービーを開く…(O)]を選択します。

3） 再生したい動画を選択し、[開く(O)]をクリックします。

4） 動画ファイルを再生します。

※操作方法について、詳しくはヘルプをご覧ください。

海外旅行にお持ちになる場合

AC アダプター AC-9U のご使用について

●AC アダプターは、表示された電源電圧（AC100V ～AC240V）以外の電圧で使用しないでください。
●付属のACケーブルは、電源電圧が125V以下の地域でのみご使用になれます。125V 以上の地域では、変圧器により 100V ～125V へ変圧しご使用ください。

付属の充電器 BC-600U のご使用について

●充電器は、表示された電源電圧（AC100V ～ AC240V）以外の電圧で使用しないでください。
●付属の電源コードは、日本・アメリカ・カナダなどAC100V～125V地域でご使用になれます。AC100V ～ 125V 以外の国または地域で使用される場合は、その国や地域に応じた電源コードを弊社アフターサービス窓口、または、お買い求めの販売店にてお買い求めください。
詳しくは、コニカミノルタカメラ統合ポータルサイト http://ca.konicaminolta.jp/ の FAQ をご覧ください。

地域	電源コード
日本向け（100V － 125V 仕様） ※そのまま、アメリカ・カナダなどでお使いいただけます。	商品名：AC コード　APC-170
ヨーロッパ（イギリス除く）・韓国・シンガポール向け（220V － 240V 仕様）	商品名：AC コード　APC-150
中国向け（220V － 240V 仕様）	商品名：AC コード　APC-151
イギリス・香港向け（220V － 240V 仕様）	商品名：AC コード　APC-160

お手入れと保管について

お手入れ時のお願い

お手入れの際は、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。

・ お手入れの際は、最初に電池を取り出してください。また、ACアダプターを使用の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
・ カメラの外装には、印刷や塗装がしてあります。ベンジンやシンナーなどで拭いたりすると変色したり、塗装や印刷が剥げることがあります。
・汚れたときは、柔らかい乾いた布でホコリを拭いてください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤（台所用）に布を浸し、よく絞ってから拭いて、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

使用後のお願い

長時間使用しないときは、電池を取り出してください。また、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

・ 長時間電池を入れたままにすると、液漏れを起こし、故障の原因となります。
・ 保管するときは、本機・電池共、涼しく湿気の少ない、なるべく温度の一定した所に保管してください。
　推奨温度：15℃～25℃
　推奨湿度：40%～60%

カードについて

取扱いについて

・ 曲げたり、強い力や衝撃を加えないでください。
・ 湿度の高い所、ほこりや湿気の多い所、静電気や電磁波の発生しやすい所に保管しないでください。
・ 端子部にゴミや水、異物を付着させないでください。

画像データについて

・他機種やパソコンで記録された画像やファイルの消去はパソコンで行なってください。
・お客様または第三者がカードの使い方を誤ったり、カードが静電気や電気的ショックなどの影響を受けたり、故障や修理した場合、記録したデータが消滅することがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社では一切責任を負えませんので予めご了承ください。

液晶モニターについて

・液晶モニターは、精密度の高い技術で作られています。99.98%以上の有効画素がありますが、0.02%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
・寒い所で使うと、はじめは画面が通常より少し暗くなりますが、本体内部の温度が上がってくると通常の明るさになります。
・ほこりや指紋などが付着して汚れたときは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。

アフターサービスについて

・本製品の補修用性能部品は、生産終了後５年間を目安に保有しています。
・製品の修理に関しては、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせいただくか、修理依頼品を「アフターサービスのご案内」に記載のサービス窓口にお持ち込みください。

故障かな？と思ったら

●故障かな？と思ったときは、次のことを調べてみてください。

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
電源	電源が入らない	・電池が消耗している ・電池が正しい向きで入っていない ・ＡＣアダプターが正しく接続されていない	21 21 24
	電源を入れてもすぐに切れる	・電池が消耗している ・電池の寿命である →新しい電池と交換してください ・低い温度の所で使用している	21 13,20 135
撮影	シャッターボタンを押しても撮れない	・電源がオンになっていない ・ＳＤメモリーカードまたはメモリスティックがライトプロテクトされている ・撮影可能枚数いっぱいに撮っている →　不要な画像は削除してください ・セルフタイマー撮影になっている ・フラッシュが充電中である	28 15 51 61 45
	ピントが合わない	・被写体が画面中央にない ・ピントが合わせにくい被写体である ・レンズが汚れている ・被写体との距離が合っていない	41 41 34 36
	液晶モニターの表示や画像がはっきりしない	・液晶の明るさ調整が合っていない ・指紋やほこりがついている	112 131
	フラッシュが発光しない	・フラッシュが「発光禁止」モードになっている	46

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
再生	再生できない	・再生ボタンがオンになっていない ・撮影された画像データが入っていない ・画像データを全て消去した	47 47 51,108
	画像が自然な色合いにならない	・ホワイトバランスが合っていない状況の可能性がある	72
	画像が暗い	・距離が遠くてフラッシュ光が届かなかった ・光量が不足していた ・露出補正の調整が合っていない	45 45,84 71
	画像が明るすぎる	・被写体に近づきすぎてフラッシュを発光した ・露出補正の調整が合っていない	45 71
その他	パソコンに転送できない	・パソコンと正しく接続されていない ・カメラに撮影済みの画像データが入っていない	122 125
	日付が正しく表示されない	・電池を外したまま２４時間以上経過していた	119

おもな仕様

形式	：ズームレンズ付デジタルスチルカメラ
有効画素数	：4.0 メガピクセル
記録媒体	：SD メモリーカード、マルチメディアカード、メモリースティック
記録画素数	：4 メガファイン（約 8 枚 /SD メモリーカード 16MB 時） 4 メガノーマル（約 16 枚 /SD メモリーカード 16MB 時） 2 メガノーマル（約 33 枚 /SD メモリーカード 16MB 時） VGA ノーマル （約 133 枚 /SD メモリーカード 16MB 時）
記録方式	：静止画；JPEG（DCF 準拠注1）/DPO F 対応注2 静止画音声，音声；WAV 形式に準拠 ムービー；AVI 形式 Motion JPEG に準拠
撮像素子	：1/2.5 インチ CCD、総画素数 2408 × 1758pixel（約 423 万画素）、原色フィルター
撮像感度	：ISO100 相当、感度切替え可（AUTO、50、100、200、400）
撮影レンズ	：f=5.6mm F2.8 ～ f=16.8mm F4.9 （6 群 7 枚） （135 サイズカメラ換算で 34 ～ 101mm 相当）
焦点調節	：CCD 像面輝度信号による中央部測距 ＋外部パッシブ中央部測距
撮影範囲	：通常撮影 ；広角側 0.5m ～∞、望遠側 0.8m ～∞ マクロ撮影；広角側 5cm ～∞、望遠側 0.5m ～∞ スーパーマクロ；0.2m ～ 0.4m（望遠側のみ）
絞り	：広角側；F2.8/F4.7、望遠側；F4.9/F8.2
シャッター	：CCD 電子シャッター併用プログラムシャッター
シャッター速度	：静止画 ；約 1 秒～ 1/2000 秒 （マニュアル露出モード時；15 秒～ 1/1000 秒）
露出制御	：プログラム AE（ISO100; 3EV ～ 15.5EV）
ホワイトバランス	：自動補正、手動設定可（昼光、曇天、白熱灯、蛍光灯）
ファインダー	：実像式ズームファインダー
フラッシュ	：内蔵式自動調光フラッシュ、発光間隔・約 4 秒、 撮影可能範囲（ISO：AUTO）・広角側約 0.5m ～ 2.1m、 望遠側約 0.8m ～ 1.2m、 充電中はファインダー LED の緑ランプ点灯

撮影モード	：単写／連写／スーパー連写／フラッシュ強制発光／フラッシュ発光禁止／マクロ／セルフタイマー(10秒、3秒)／ポートレート／風景／夜景／スナップ／スポーツ／エンジェル／ムービー（320×240、音声付）／白黒／セピア／赤目軽減／デジタルズーム（×2）／プログラム／絞り優先／マニュアル露出／ブラケット
液晶モニター	：バックライト付き 1.5 インチ低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター
再生	：1 コマ／インデックス再生／スライドショー再生／デジタルズーム再生
消去	：1 コマ／指定コマ／全コマ／フォーマット
LED 表示	：起動 LED、セルフタイマー LED、ファインダー LED
オートデート	：2050 年までの年月日・時分を記録[注3]
電源	：リチウムイオン電池（3.7V)、専用 AC アダプター（別売）
入出力端子	：USB 端子
動作温度	：0℃～ 50℃（湿度 20%～ 80%）
大きさ	：93.5(W）× 55.5(H)× 23(D)mm（突起部除く）
質量（重さ）	：約 145g（電池、カード別）

＊上記性能については、当社試験条件によります。
＊製品の仕様および外観については予告なく変更することがあります。

注１．ＤＣＦとは、主としてデジタルカメラの画像ファイルを、関連機器間で簡単に利用しあうことを目的として規定された（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

注２．ＤＰＯＦ とは、キャノン株式会社、コダック株式会社、富士写真フィルム株式会社、松下電器産業株式会社の４ 社で規定し、デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントしたい画像や枚数などの指定情報を記録媒体に記録するための規格「Digital Print Order Format 」の略称です。

注３．日付・時刻のバックアップ電池として、マンガンシリコンリチウム電池を使用しています。バックアップ電池は３～５年に１度の交換をおすすめします。（有料）

索引

あ行

か行

さ行

た 行

な 行

は 行

ま 行

や 行

ら行

アルファベット順

コニカミノルタ カメラ株式会社
〒590-8551 大阪府堺市大仙西町 3-91

9223-2732-61 X-C506